

事項六 四洮鉄道關係一件

四七〇 一月二十二日 国沢滿鉄理事長ヨリ
内田外務大臣宛

中国政府ハ四鄭線ノ洮南ヘノ延長ヲ承諾ノ意
向アルニ付小幡公使ヨリ同政府ヘ交渉セシメ
ラレ度旨内申ノ件

東庶第一、七〇二号

四鄭鉄道延長ノ儀ニ付テハ一昨冬在北京林公使ヨリ支那政
府ニ対シ開海鐵道ト共ニ交渉ノ端ヲ開カレ候処同政府ハ于
今回答ヲ等閑ニ附シ居候姿ニ有之然ルニ其後廣四鄭局長カ
曹交通総長ト種々表裏面ノ相談ヲ重ネ候結果トシテ支那政
府ハ開魯ニ延長スルコトハ容易ニ同意シ難キモ予定ノ洮南
ニ延長スルニ於テハ速ニ承諾スヘキ意向ナル趣相聞エ虞局
長ハ此際在北京小幡公使ヨリ前年交渉ノ継続トシテ交通総
長ヘ回答御催促相成候ハバ自然洮南案モ出テ問題ハ早速解
決セラルヘキ見込ニ有之而巳ナラズ其交渉地ノ大連トナル
ヘキコト及ヒ眞自ラ委員ノ任命ヲ受クヘキコトモ内定シ居
ル如ク此程本人弊本社ヲ訪ヒ予メ弊社ノ内諾ヲ求ムルト同

時ニ交通部ニ於ケル内情トシテ右等相漏シ居候次第ニ付弊
社ニ於テモ此絶好ノ機会ヲ捉ヘ暫ク開魯線ヲ断念シ但太白
音太来ニ至ル支線ヲ設クルコトヲ条件トシ寧ロ洮南ニ變更
シテ専ラ其速成ヲ計ルコト彼我ノ利益カト存候次ニ弊社カ
契約当事者ト相成候コトハ兼テ最前其權利ヲ有シ候横浜正
金銀行ノ同意モ得居候コトニ有之建設資金ノ調達ニ付キ弊
社ノ資力ヲ以テシテ之ヲ許サザル場合ニハ同銀行ニ於テ支
那公債ノ引受発行等担任致具レ候約諾ヲ得候儀ニ付小幡公
使ヨリ右延長線ノ交渉ヲ続開セラレ候ト同時ニ弊社ヲシテ
同銀行ニ代リ契約当事者タラシムルコト双方ノ間ニ熟議決
定セル次第ヲモ先ツ以テ支那政府ヘ御通告被成下候様致度
最近在北京虞局長ヨリノ情報ニ拠レハ契約当事者ノ弊社ニ
變更候コト交通総長モ異議ナキ趣ニ御座候ヘハ其辺ノ御含
ミヲ以テ小幡公使ヘ至急御訓令相成度候尤モ資金調達ノ計
画ニ付テハ執レトモ更ニ政府ノ御指示相可仰候得共不取敢
右及内申候也

大正八年一月二十二日

南滿洲鉄道株式会社

理事長工學博士 国沢新兵衛(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

追テ資金総額ハ約四千五百万円ニシテ内建設費鄭家屯洮
南間百三十八哩金千八百五十万円、鄭家屯白音太来間七
十哩金七百九十万円ノ見込ニ御座候為念申添候

四七一 二月二十六日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

四鄭鉄道ノ洮南延長交渉ノ為交通部ヨリ派員
ノ旨交通総長回答ノ件

第二七三号

往電第七七号ニ関シ交通総長ヨリ二月二十五日附公文ヲ以
テ本件ニ付テハ既ニ四鄭鐵路局ヲシテ切実計画セシメツツ
アル滿鉄ト委細交渉ノ為交通部ヨリ員ヲ派シ商議セシムル
コトトスヘキ旨回答アリタリ
奉天鄭家屯ヘ電報セリ

四七二 二月二十八日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

六 四洮鉄道關係一件 四七一 四七二 四七三

四鄭鉄道洮南延長ニ関シ四鄭鐵路局長虞愚ヲ

借款契約ノ任ニ当ラシムル件

第二八二号

往電第二七三号ニ関シ

四鄭鐵路局長虞愚ヲシテ借款契約ノ任ニ当ラシムベキ旨交
通部ヨリ通知アリタリ

滿鉄ヘハ済ミ

四七三 三月三日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

四鄭線延長ノ借款ニ付中国当局ハ若干ノ籌備
費ヲ要求セルモ滿鉄ヲシテ差当リ之ヲ拒絕セ
シムルコトトセル旨通報ノ件

第二八九号

貴電第二八二号ニ関シ四鄭鉄道延長線ニ付テハ先般滿鉄本
社ヨリ大体貴電第七七号御来示同様ノ義申出テアリ同社ニ
於テハ暫ク開魯線ヲ断念シ単ニ白音太来ニ至ル枝線ヲ設ク
ルコトヲ条件トシテ寧ロ鄭家屯洮南線ヲ選ヒ其急設ヲ図ル
コトト致度趣ナリシ処其後滿鉄ヨリ同延長線借款ニ付テハ

四八九

支那側ニ於テ前提条件トシテ借款金額四千五百万円ノ五分ヲ籌備費又ハ其他何等名義ノ下ニ曹汝霖一派ニ贈与セムコトヲ求メ居レル趣ヲ以テ政府ノ内意ヲ伺出テタルニ付現下政府ニ於テハ已定ノ方針ニヨリ南北妥協成立前ハ可成此ノ種前渡ニ類スルコトハ見合ハセ度意向ナルガ将来妥協成立ノ上適當ノ取極ヲ為スニ於テハ強而異存ナク從テ此ノ際籌備費ノ如キ資金ヲ支那側ニ交付スルコトハ承認シ難キ旨滿鉄ニ回示シ置ケリ御含迄

四七四 三月三日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

四鄭鉄道ノ洮南延長交渉ニ関シ滿鉄ガ籌備費

ヲ提供スルハ何等差支無シト認メラルル旨稟

申ノ件

第二八六号

往電第二七三号ニ関シ伝聞スル所ニ拠レバ支那側ノ希望スル籌備費ノ受授ニ付テハ本省ニ於テ異論アリ若シ右不実行ノ為契約成立セザルコトアルモ已ムヲ得ザルニ付其成行ニ放任セシムルノ外ナシトノ御意嚮ナルヤノ趣ナルガ本使ノ

承知スル所ニ依レバ該籌備費ハ借款調達ニ依リテ滿鉄ノ受クル手数料中ヨリ処弁セントスルモノニシテ表面ニ現ハルルモノニ非ス畢竟全然滿鉄ト先方トノ私的受授ト見テ可ナルベク然ルニ尚且之ヲモ不可ナリトセラルルニ於テハ契約ノ成立ハ困難ナルベク折角ノ好機ヲ逸スル而已ナラズ累ヲ他各種ノ案件ニモ及ボス虞アル(不明)ト思考セラルルニ就テハ其辺御考量ノ上当然滿鉄ノ受クル手数料ノ処分如何ハ一切同社ノ裁量ニ一任セラレ遲滞ナク商議開始ノ運ニ至ル様御詮議相成様致シタシ

四七五 三月三日

在大連川上滿鉄理事ヨリ
幣原外務次官宛

四鄭鉄道洮南延長借款ニ関シ籌備費提供ハ何

等差支無キニ付好機ヲ逸セザル様致シ度キ旨

申出ノ件

拝啓老台益御清適奉慶賀候忝四鄭線ノ延長問題ニ関シ過般来在京理事連ヨリ兼而申出置候通虞局長ハ交通総長ノ内命ヲ承ケ屢次来社シ四鄭ノ延長ハ彼我ニ取り焦眉ノ急務ニ候故何卒借款ニ応シ吳候様懇請致候ト同時ニ今回支那政府ヨ

リモ小幡公使ニ対シ公式ニ回答セシ次第ニ有之候然ルニ貴省ニ於テハ「コムミツシヨン」(即籌備費)ノ支弁ハ絶対ニ御認許相成間敷模様ニ相見エ候処由来借款等ノ場合ニ於テ支那当局ニ対シ多少ノ「コムミツシヨン」ヲ与フルノ必要ナル事ハ夙ニ内外人ノ等シク認識スル所殊ニ西亀ノ新借款成立後今回ノ如キ比較の少額ノ「コムミツシヨン」ヲ支払フ事ハ万不得已義ト被存候而シテ滿鉄カ借款調達ノ手数料トシテ五分半位ヲ貰受クル条件ヲ契約中ニ記載シ其内ヨリ「コムミツシヨン」ヲ窃ニ受授致候ハ表面上何等差支可無之様被考候(滿鉄トシテ政府ノ内諾ヲ経ス如此キ事ヲ敢テスル線ナキ故内申致シタル次第ニ候)「虞局長ハ既ニ談判委員ノ任命ヲ受ケ過日来随員ト共ニ此地ニ来着其内小幡公使ヨリ弊社ニ何分ノ義公式ノ通知アルヘシトテ居催促中ニ候処本件ニ関シ同公使ヨリハ未タ何等ノ通牒無之モ本省ヘハ委曲報告相成候事故不日其筋ヨリ何分ノ義御内示被下候事ト確信罷在候御承悉ニモ可有之通滿蒙鉄道中最モ急設ヲ要スル四鄭延長ニ付先方ヨリ借款ノ申込ヲ受ケナカラ單ニ籌備費ノ為此好機ヲ逸スルハ如何ニモ遺憾至極ニ有之只之ガ政府ノ御方針ナリト受取兼ヌル感有之候ニ付特ニ今一

応御考慮ヲ加ヘラルル様不堪懇請之至ニ候乍去若シ万一政府ニ於テ一切ノ借款ニ応セラレサル事ニ御決定相成居候義ナレハ致方無之虞局長ヲ徒ニ当地ニ滞留セシメ置ク事ハ氣ノ毒千万故至急支那政府ニ対シ四鄭延長借款ニ応セサル旨通知方我公使ニ御訓電有之様御取計被下度候本問題ハ直接弊社ノ利害ニ関セサル事故当方ニテ虞局長ニ対シ借款ヲ拒絶スルハ左程心苦シキ義ニ無之候モ将来ニ於ケル交通部トノ関係等ニ鑑ミ此際国家ノ為是非本借款ヲ成立セシメタキ熱望上敢テ申上クル次第御諒鑒被下度候此借款ニシテ不成立ニ終ラン歟現在ノ四鄭線ハ僅カニ五拾余里ノ短距離故其経営上到底之ヲシテ経済的ナラシムル能ハサルハ勿論短期借款(貳百六十万円期限ハ本年七月)ノ償却並橋梁及車輛之完成ヲ期シ難ク支那側ニ取り迷惑千万ナルト同時ニ我邦ノ借款及援助モ亦無意義トナルハ明瞭ニ有之候加之将来弊社ト交通部ノ関係ハ為之面白カラサル状態ニ陥リ現ニ談判中ナル吉会及滿蒙諸鉄道借款問題而已ナラス今後起ルヘキ種々ナル問題ノ解決上ニ至大ノ影響アル事ヲ予期セサルヘカラスト愚考致候尚政府ニ於而講和會議及南北和平ノ関係上一時総テノ借款ヲ見合セラルル義ナレハ致方無之モ是ト

テ何等政治の意味ヲ有セサル借款ニシテ從來懸案トナリ居ルモノ故左程顧慮ノ価値ハ無之現ニ巴里及上海ニ於ケル借款鐵道問題ノ如キハ決シテ物ニナリ不申候ニ付深ク留意セシテ可ナリ云々ト北京大官中極言致居候向モ有之候前記頗ル冗長ニ渉リ候得共本問題ノ解決上御参考旁弊社ノ希望陳述致度草々 敬具

三月四日

俊彦

幣原老台

侍曹

四七六 三月三日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

四鄭鐵道延長借款ニ関シ籌備費問題ハ滿鉄ノ

裁量ニ任セ借款ノ成立ヲ期スル方得策ト思考

スル旨稟申ノ件

第二九九号

(三月五日接受)

往電第二八六号ト行違ニ貴電第二八九号接到御来示ニ依レハ根本ニ於テ格段ノ御異存アルニアラサルモ此際多少ナリ

トモ費途曖昧ナル金員ヲ交附スルハ好マシカラス寧ロ妥協成立後ニ譲ルコト然ルヘントノ御趣旨ト解セラレ右ハ厳正ナル見地ヨリ云フ時ハ頗ル御尤ノ次第ナルモ拙電ニモ申進シタル通り本件金額ハ直接借款金額中ヨリ交附セラルルモノニアラズシテ滿鉄力其当然受クル手数料ヨリ処弁セントスルモノナル事並ニ妥協成立ト共ニ政局ニ變動ヲ来スヘキハ必然ノ勢ニシテ斯クテハ契約自体ノ成立スラ或ハ頗ル困難ニ陥ルヲ保シ難キニ顧ミ独リ四鄭線ノミナラス吉会線其他差迫リタル諸案件促進ノ必要ヲモ篤ト考量ニ入レラレ滿鉄ノ受クル手数料ノ処分ハ暫ク同社ノ裁量ニ一任セラレ同社ニ対シテハ単ニ我借款方針ヲ恪守スヘントノ指令ヲ与フルニ止メラレ以テ此機ヲ逸セス契約ノ成立ヲ期セシメラルル方好都合ナリト存ス更ニ御詮議ノ結果当方ヘモ御電訓ヲ請フ

四七七 三月九日

内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

鄭家屯洮南鐵道借款ニ関シ籌備費交付ニハ同

意シ難キモ該借款商議ノ進捗ハ差支ナキ旨滿

鉄ニ指示セル旨通報ノ件

第三二〇号

貴電第二九九号ニ関シ

段々御申越ノ次第アルモ其借款中ヨリ支払ハルルモノナルト將又滿鉄ノ受クヘキ手数料中ヨリ処分セラルルトヲ問ハス此際此種資金ノ交付ヲ為スハ往電第二八九号ノ通り面白カラサルニ付乍遺憾同意シ難シ殊ニ支那側ニテ本件籌備費ヲ得ル為メニハ手取額ハ如何様ニ定ムルモ苦シカラストノ意見ナルヤニテ結局名義ハ如何ニスルトモ借款額中ヨリ交付セラルルニ外ナラサル次第ナリ乍去本鐵道ノ必要有利ナルコトハ当方ニ於テモ認ムル処ニ付此際此種ノ資金ヲ交付スルコトナクシテ本件ノ進捗ヲ図ルコトハ何等差支ナク此点ハ曩ニ当地滿鉄代表者ヘモ申聞ケ置キタル所ナリ尚滿鉄本社ニ於テハ是非共本借款ノ成立ヲ希望スル処籌備費問題ヲ離シテ協議スルニ於テハ借款ニ応シ差支ナキ次第ナルヤ政府ノ意嚮承知シ度趣ヲ以テ当地同支社ヨリ伺出アリタルヲ以テ右ノ如ク此種資金ノ交付ヲ見サルモノナレバ借款ノ商議ヲ進メ何等差支ナキ旨回示シ置ケリ

四七八 四月十一日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

鄭家屯洮南鐵道借款ニ関シ外務省ヨリ川上滿

鉄理事ニ与ヘタル指令ノ要旨問合等ニ関スル

件

第五四三号

貴電第三二〇号ニ関シ

最近川上理事上京ノ上關係当局ト懇談ノ結果略々円満ナル了解ヲ得予定通り商議進行ノコトナリタル趣ナルガ政府ヨリ川上ニ与ヘラレタル指令ノ要旨本使参考ノ為承知シ置キタシ尚本件ニ関シ日本政府筋ノ何人カガ章公使ニ対シ日本資本家側ガ支那側希望通り報酬的ニ籌備費問題ニ応ズルニ於テハ交通部ハ四鄭延長契約ニ関シ全部日本ノ条件ヲ容レラルル所存ナリト承知スル処右ハ果シテ事実ナリヤト質問シタル趣ノ処章公使ハ全然本件ノ成行ヲ知ラザルヲ以テ其趣交通部ヘ電報シ尋ネ来リタルモ元来本件ハ曹等内々ノ計ヒニテ滿鉄ト話ヲ進メ来リタル契約ナルニ突然章ヨリ来電有リタルスラ意外ナルニ日本政府筋ヨリ斯ル話ノ有リタルハ曹汝霖ニ於テ殊ノ外意外ノ感ニ打タレ同人ノ立場上甚

シク困却シツツ有ルヤノ趣ナリ右ニ関シ何等御心当リノ次第有ラハ之亦一応御内報ニ預度シ(十一日)

四七九 四月十五日 内田外務大臣ヨリ 在中国小幡公使宛(電報)

四鄭鐵道延長線借款ニ関シ籌備費差当リ予約
スルモ交付ハ中国南北妥協成立後トスルコト
ニ付滿鉄ヨリ伺出アリ政府ハ之ヲ承認セル旨
等回報ノ件

附記 外務省滿鉄間四鄭鐵道延長線借款籌備費ニ関ス
ル打合内容

第五二一号

貴電第五四三号前段ニ関シ先般川上竜居兩理事来省本省係
官ニ対シ四鄭鐵道延長線借款ノ籌備費ノ件ハ此際ハ現金ヲ
交付スルコトナク単ニ予約ニ止メ南北妥協成立ノ上ニテ始
メテ之ヲ交付スヘキ条件ニテモ支障アルヤ否ヤ承知シ度旨
申出タルヲ以テ係官ヲシテ右ノ条件ナラハ政府ニ於テ黙認
シ置クヘキモ妥協成立前ニ右資金カ支那側ノ手ニ移ルコト
ナキ様措置ヲ講スルコト肝要ナル旨申聞ケシメ置キタリ尚
滿鉄ヨリ右ニ対シ(一)籌備費ハ主トシテ滿鉄ノ受クヘキ公債

上及竜居兩理事ニ対シ右ノ通り伝達シ且妥協成立前ニ於テ
現金ノ支那側ニ移ルコトナキ様適當ノ措置ヲ講スル件ハ滿
鉄ヨリ案ヲ具シ追テ政務局ニ協議スヘキコトニ打合セラ了
セリ又本借款資金四千五百万円ニ対スル大蔵大臣ノ關係ハ
別問題ニテ右ニ付テハ相当期日モアレバ追テ考究ノコトニ
之亦打合済ナリ

四八〇 六月二日 野村滿鉄社長ヨリ 内田外務、高橋大蔵両大臣宛

鄭家屯洮南間及鄭家屯白音太來間ノ鐵道借款
契約案ヲ彼我委員間ニ議了ニ付認可申請ノ件

附屬書 右契約附屬往復公文書案

附記一 五月八日在大連川上滿鉄理事ヨリ在東京龍居滿
鉄理事宛電報四洮鐵道借款契約交渉ハ中国側ノ
案ヲ基礎トスルコトニ外務当局ノ認可ヲ得ル様
申請ノ件

二 五月十五日在大連川上滿鉄理事ヨリ在東京龍居

滿鉄理事宛電報四洮鐵道借款契約交渉ニ関スル
前電申請ニ対スル回電督促ノ件

三 五月二十三日在大連川上滿鉄理事ヨリ在東京龍

居滿鉄理事宛電報四洮鐵道借款契約案議了ノ件
四 五月三十一日牛島滿鉄北京公所長代理ヨリ在東

発行手数料ヲ以テ支弁スルコト(二)籌備費ニ充當スヘキ金額
ハ取扱銀行ヲシテ募集セシメタル預金中ヨリ最先ニ控除シ
交付スヘキ旨滿鉄委員個人ノ資格ヲ以テ支那側ニ予約シ置
クコト(三)籌備費ハ支那南北ノ和議確實ニ成立スル後ニアラ
ザレハ一切交付セサルコト即チ滿鉄ヨリ当局ニ於テ同費ヲ
交付スルモ差支ナシト認ムル時期ニ達スル迄ハ公債募集後
ト雖總テ滿鉄ニ於テ別途保管シ置クコトトスヘキ旨申出タ
リ又前頭貴電後段ニ関シ本省筋ヨリ章公使ニ対シ何等スル
申入ヲ為シタルコトナク其他目下ノ処別ニ心当リナシ

(附記)

外務省滿鉄間四鄭鐵道延長線借款籌備費ニ関スル打合内容

大正八年三月二十七日川上及竜居兩滿鉄理事来省小村課長
及栗野書記官ニ対シ四鄭鐵道延長線借款ノ籌備費ノ件ハ此
際ハ現金ヲ交付スルコトナク単ニ予約ニ止メ南北妥協成立
ノ上ニテ始メテ交付スヘキ条件ニテモ支障アルヤ否ヤ承知
シ度旨申出タルヲ以テ栗野書記官ヨリ次官ニ伺ヒタル処
右ノ条件ナラハ政府ニ於テ黙認シ置クヘキモ妥協成立前ニ
右資金カ支那側ノ手ニ移ルコトナキ様措置ヲ講スルコト肝
要ナリトノコトニ付三月二十八日小村栗野兩書記官ヨリ川

京川上滿鉄理事宛電報四洮鐵道借款契約ニ付北
京政府承認容易ノ見込ナル旨報告ノ件

東庶第一一七号

(六月二日接受)

鄭家屯洮南間及鄭家屯白音太來間鐵道借款締結ノ件ニ関シ
テハ本年三月二十一日附東庶第一、七九四号ヲ以テ御申請
申上候借款契約案ニ基キ理事川上俊彦ヲ委員トシ大連ニ於
テ支那側委員虞愚トノ間ニ交渉ヲ開始セシメ候処中途交渉
ノ根本方針ヲ變更セサルヘカヲサレ事情發生シ政府ノ御認
諾ヲ得テ本件契約ヲ事実上四鄭鐵道借款契約ノ続借トシ其
ノ形式及内容ヲ可成同契約ニ準拠セシムルコトトシテ交渉
ヲ進メ政府ノ認可ヲ条件トシテ別冊案ノ通り彼我委員間ニ
議了致候間御審査ノ上御認可被下度此段及御申請候也

追テ本文契約案御認可ノ上ハ川上理事ヲ北京ニ派シ調印
セシメ度所存ニ御座候尚本件契約及往復文書ニ關聯スル
横浜正金銀行トノ關係ハ兼テ政府ノ御内諾ヲ得同銀行ノ
了解ヲ得居候得共改メテ同銀行ト協議決定ノ上更ニ御認
可申請致スヘク候間御含置被下度候

大正八年六月二日

南滿洲鐵道株式会社

社長工学博士 野村電太郎(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

大藏大臣男爵 高橋是清殿

註 三月二十一日附東庶第一七九四号ヲ省略セリ尚四洮鐵道借款契約案(大正八年五月二十二日彼我委員間ニ議了)ハ後出九月二十日在中国小幡公使宛内田外務大臣宛電報第一二七五号附記ノ契約ト略ボ同文ニ付省略シ附屬往復公文書案ノミ採録ス

(附屬書)

四洮鐵道借款契約附屬

往復公文書(案)

(大正八年五月二十二日彼我委員間ニ議了)

目次(支那側ヨリノ往翰又ハ復翰ハ訳文)

- (一)四洮鐵道借款契約ト四鄭鐵道借款契約トノ關係ニ関スル件(契約第一条参照)
- (二)公債発行ノ代弁取扱ニ関スル件(契約第一条参照)
- (三)社債発行ニ関スル件(契約第一条参照)
- (四)公債発行以前ニ於ケル鐵道費ノ支弁ニ関スル件(契約第三条参照)
- (五)鐵道收入ノ預入銀行ニ関スル件(契約第十八条参照)

意相成度候

右照会得貴意候

大正 年 月 日

南滿洲鐵道株式會社代表者

理事

交通總長

殿

(復 翰)

拝啓本日調印セル四洮鐵道借款契約第一条第三項ニ四洮鐵道本線中四平街ヨリ起リ鄭家屯ニ至ルモノニ付テハ前ニ政府ト横浜正金銀行トノ間ニ四鄭鐵道借款契約ヲ訂結シタルヲ以テ右四鄭鐵道借款契約ト本契約トノ關係ハ別ニ往復文書ヲ以テ之ヲ定ムトノ規定有之候処元來四洮鐵道借款契約ハ弊社カ四鄭鐵道借款契約第二十三条ニ依リ同鐵道督辦ノ承認ヲ受ケ同鐵道借款契約ニ依リ横浜正金銀行ノ享有スル權利及義務ノ全部ヲ同銀行ヨリ譲受ケタル結果訂結シタルモノナレバ本契約ニテ四洮鐵道トシテ其ノ建造及管理ヲ定メタル以上本契約ト牴触スル四鄭鐵道借款契約ノ各条項ハ当然消滅スヘク右以外ノ条項ニ依ル弊社ノ權利ニ就テハ横浜正金銀行ヲシテ弊社ニ代リテ処弁致サシムヘキ旨御照会

(六)鐵道收入ノ預金利率ニ関スル件(契約第十八条参照)

(七)欧米ニ於テ公債元利支払及公債発行ニ関スル件(契約第二十四条参照)

(八)四洮鐵道ノ出貨ヲ會社ニ於テ連絡輸送スル件

(一)四洮鐵道借款契約ト四鄭鐵道借款契約トノ關係ニ関スル件

(往 翰)

拝啓本日調印セル四洮鐵道借款契約第一条第三項ニ四洮鐵道本線中四平街ヨリ起リ鄭家屯ニ至ルモノニ付テハ前ニ政府ト横浜正金銀行トノ間ニ四鄭鐵道借款契約ヲ訂結シタルヲ以テ右四鄭鐵道借款契約ト本契約トノ關係ハ別ニ往復文書ヲ以テ之ヲ定ムトノ規定有之候処元來四洮鐵道借款契約ハ弊社カ四鄭鐵道借款契約第二十三条ニ依リ同鐵道督辦ノ承認ヲ受ケ同鐵道借款契約ニ依リ横浜正金銀行ノ享有スル權利及義務ノ全部ヲ同銀行ヨリ譲受ケタル結果訂結シタルモノナレバ本契約ニテ四洮鐵道トシテ其ノ建造及管理ヲ定メタル以上本契約ト牴触スル四鄭鐵道借款契約ノ各条項ハ当然消滅スヘク右以外ノ条項ニ依ル弊社ノ權利ニ就テハ横浜正金銀行ヲシテ弊社ニ代リテ処弁致サシムヘク候間御同

ノ趣聞悉致候

右ニ對シテハ本部ニ於テ異議無之候

右回答得貴意候 敬具

中華民國 年 月 日

交通總長

南滿洲鐵道株式會社代表者

理事

殿

(往 翰)

(二)公債発行ノ代弁取扱ニ関スル件

拝啓本日調印セル四洮鐵道借款契約第一条第一項ニ政府ハ會社ニ五分利附政府金貨公債四千五百万円ヲ發行スルノ權限ヲ付与ストノ規定有之候処右弊社ノ權限ハ便宜弊社ニ於テ四洮鐵道借款契約ニ從ヒ同鐵道督辦ノ同意ヲ經テ指定シタル銀行ヲシテ之ヲ代弁セシムルヲ得ルコトト致度候間御同意相成度候

右照会得貴意候 敬具

大正 年 月 日

南滿洲鐵道株式會社代表者

理事

交通総長 殿

(復 翰)

拝啓本日調印セル四洮鐵道借款契約第一条第一項ニ政府ハ
会社ニ五分利附政府金貨公債四千五百万円ヲ発行スルノ權
限ヲ付与ストノ規定有之候処右弊社ノ權限ハ便宜弊社ニ於
テ四洮鐵道借款契約ニ從ヒ同鐵道督辦ノ同意ヲ經テ指定シ
タル銀行ヲシテ之ヲ代弁セシムルヲ得ルコトト致度旨御照
會ノ趣聞悉致候

右ニ對シテハ本部ニ於テ異議無之候

右回答得貴意候 敬具

中華民國 年 月 日

交通総長

南滿洲鐵道株式會社代表者

理事 殿

(三) 社債發行ニ關スル件

(往 翰)

拝啓本日調印セル四洮鐵道借款契約第一条第一項ニ政府ハ
会社ニ五分利附政府金貨公債四千五百万円ヲ発行スルノ權
限ヲ付与ストノ規定有之候処市場ノ情況ニ因リ若シ弊社ニ

於テ弊社債ヲ以テ貴政府ノ需要ニ応スルコト貴政府ノ為メ
利益ナリト認メタル時ハ予メ四洮鐵道督辦ト協議シ其ノ同
意ヲ經タル上右ニ依リ処理スルコトト致度其ノ一切ノ条件
ハ四洮鐵道借款契約ニ準拠シ契約ニ規定ナキ事項ニ付テハ
予メ同督辦ト協議決定スルコトト致度候間御同意相成度候
右照會得貴意候 敬具

大正 年 月 日

南滿洲鐵道株式會社代表者

理事

交通総長 殿

(復 翰)

拝啓本日調印セル四洮鐵道借款契約第一条第一項ニ政府ハ
会社ニ五分利附政府金貨公債四千五百万円ヲ発行スルノ權
限ヲ付与ストノ規定有之候処市場ノ情況ニ因リ若シ弊社ニ
於テ弊社債ヲ以テ貴政府ノ需要ニ応スルコト貴政府ノ為メ
利益ナリト認メタル時ハ予メ四洮鐵道督辦ト協議シ其ノ同
意ヲ經タル上右ニ依リ処理スルコトト致度其ノ一切ノ条件
ハ四洮鐵道借款契約ニ準拠シ契約ニ規定ナキ事項ニ付テハ
予メ同督辦ト協議決定スルコトト致度旨御照會ノ趣聞悉致

候

右ニ對シテハ本部ニ於テ異議無之候

右回答得貴意候 敬具

中華民國 年 月 日

交通総長

南滿洲鐵道株式會社代表者

理事 殿

(四) 公債發行以前ニ於ケル鐵道費ノ支弁ニ關スル件

(來 翰)

拝啓本日調印セル四洮鐵道借款契約第三条第二項ニ右建造
ハ本契約調印後六個月以内ニ起工シ實際起工ノ時ヨリ五個
年以内ニ完成スヘシトノ規定有之候処前記六個月ノ期間内
ニ於テ四鄭鐵道ニ要スル一切ノ費用並前ニ横浜正金銀行ヨ
リ借入レタル四鄭鐵道短期借款ノ還付ニ必要ナル費用ハ貴
会社ニ於テ相當額ノ金員ヲ準備セラレ四洮鐵道公債募集金
ヲ引当ニ立替御交付相煩度其ノ金額ハ必要ヲ限度トシテ予
メ同鐵道督辦ヨリ貴会社ニ申込ムヘク右ニ對スル利率ハ年
分即元金壹百円ニ付金 円ヲ超エサルコトシ元金利子共
ニ四洮鐵道公債第一回募集金ヨリ控除セラルル様致度尚

契約第二十二條ニ依リ契約ヲ無効トスル場合ハ本部ニ於テ
他ノ資金ヨリ償還可致候
右ニ就キ貴会社ノ同意相求メ度候
右照會得貴意候 敬具

中華民國 年 月 日

交通総長

南滿洲鐵道株式會社代表者

理事 殿

(復 翰)

拝啓本日調印セル四洮鐵道借款契約第三条第二項ニ右建造
ハ本契約調印後六個月以内ニ起工シ實際起工ノ時ヨリ五個
年間ニ完成スヘシトノ規定有之候処前記六個月ノ期間内ニ
於テ四洮鐵道ニ要スル一切ノ費用並前ニ横浜正金銀行ヨリ
借入レタル四鄭鐵道短期借款ノ還付ニ必要ナル費用ハ貴會
社ニ於テ相當額ノ金員ヲ準備セラレ四洮鐵道公債募集金ヲ
引当ニ立替御交付相煩度其ノ金額ハ必要ヲ限度トシテ予メ
同鐵道督辦ヨリ貴会社ニ申込ムヘク右ニ對スル利率ハ年
分即元金壹百円ニ付金 円ヲ超エサルコトシ元金利子共
ニ四洮鐵道公債第一回募集金ヨリ控除セラルル様致度尚契

約第二十二條ニ依リ契約ヲ無効トスル場合ハ本部ニ於テ他ノ資金ヨリ償還可致旨御照会ノ趣聞悉致候

右ニ對シテハ弊社ニ於テ異議無之候

右回答得貴意候 敬具

大正 年 月 日

南滿洲鐵道株式會社代表者

理事

交通總長 殿

(戊)鐵道收入ノ預入銀行ニ關スル件

(來 翰)

拝啓本日調印セル四洮鐵道借款契約第十八條第一項ニ本鐵道一切ノ收入ハ遲滞ナク之ヲ第十四條所定ノ銀行ニ於ケル本鐵道局勘定ニ払込ミ場合ニ應シ定期預金又ハ當座預金トシ云々トノ規定有之候処若シ該鐵道線路所在地ニ同銀行ノ設立無之場合ハ便宜弊國銀行ニ預入ルルコトト致度候間御同意相成度候

右照會得貴意候 敬具

中華民國 年 月 日

交通總長

南滿洲鐵道株式會社代表者

理事

殿

(復 翰)

拝啓本日調印セル四洮鐵道借款契約第十八條第一項ニ本鐵道一切ノ收入ハ遲滞ナク之ヲ第十四條所定ノ銀行ニ於ケル本鐵道局勘定ニ払込ミ場合ニ應シ定期預金又ハ當座預金トシ云々トノ規定有之候処若シ該鐵道線路所在地ニ同銀行ノ設立無之場合ハ便宜弊國銀行ニ預入ルルコトト致度旨御照会ノ趣聞悉致候

右ニ對シテハ弊社ニ於テ異議無之候

右回答得貴意候 敬具

大正 年 月 日

南滿洲鐵道株式會社代表者

理事

交通總長 殿

(己)鐵道收入ノ預金利率ニ關スル件

(來 翰)

拝啓本日調印セル四洮鐵道借款契約第十八條第一項ニ本鐵道一切ノ收入ハ遲滞ナク之ヲ第十四條所定ノ銀行ニ於ケル

本鐵道局勘定ニ払込ミ場合ニ應シ定期預金又ハ當座預金トシ其ノ利率ハ隨時同銀行ト協議シテ之ヲ定ムトノ規定有之候処其ノ利率ハ同鐵道ノ為有利ナラシムル様御尽力煩シ度候

右照會得貴意候 敬具

中華民國 年 月 日

交通總長

南滿洲鐵道株式會社代表者

理事 殿

(復 翰)

拝啓本日調印セル四洮鐵道借款契約第十八條第一項ニ本鐵道一切ノ收入ハ遲滞ナク之ヲ第十四條所定ノ銀行ニ於ケル本鐵道局勘定ニ払込ミ場合ニ應シ定期預金又ハ當座預金トシ其ノ利率ハ隨時同銀行ト協議シテ之ヲ定ムトノ規定有之候処其ノ利率ハ同鐵道ノ為有利ナラシムル様御尽力煩シ度旨御照会ノ趣聞悉致候

右ニ對シテハ弊社ニ於テ異議無之候

右回答得貴意候 敬具

大正 年 月 日

南滿洲鐵道株式會社代表者

理事

交通總長 殿

(戊)歐米ニ於テ公債元利支払及公債發行ニ關スル件

(往 翰)

拝啓本日調印セル四洮鐵道借款契約第二十四條第一項ニ會社ハ本公債ノ流通ニ便ナラシムル為メ証書ニ額面金額相当ノ一定英貨額ハ貨額又ハ米貨額ヲモ記載シ並日支兩國語ノ外英語又ハ仏語ヲ以テ之ヲ印刷シ且倫敦巴里又ハ紐育ヲ本公債元利金支払地ト為スコトヲ得、同條第二項ニ會社ハ市場ノ都合ニ依リ本公債ノ全部又ハ一部ヲ倫敦巴里又ハ紐育ニ於テ發行スルコトヲ得トノ規定有之候処將來前二項所定ノ通り實行セラルルニ當リテハ本契約ニ關係アル各條項ハ之ヲ改訂セサルヘカラサルヘク即チ本契約文中一切ノ日本金貨ヲ英貨磅ト改メ又第七條第四項ニ日本ニ日本貨幣ヲ所有スルトキハ東京ニ於テアルヲ英國ニ英國貨幣ヲ所有スルトキハ倫敦ニ於テ改メ第十條及第十二條ノ支那國駐日公使ヲ支那國駐英公使ト改ムルコト等トナルヘク尚巴里或ハ紐育ニテ債券ノ売出ヲナス場合モ英國ニ於ケル債券売出

ノ例ニ依ルヘク候間御同意相成度候

右照会得貴意候 敬具

大正 年 月 日

南滿洲鐵道株式會社代表者

理事

交通総長 殿

(復 翰)

拝啓本日調印セル四洮鐵道借款契約第二十四条第一項ニ會社ハ本公債ノ流通ニ便ナラシムル為メ証書ニ額面金額相当ノ一定英貨額仏貨額又ハ米貨額ヲモ記載シ並日支兩國語ノ外英語又ハ仏語ヲ以テ之ヲ印刷シ且倫敦巴里又ハ紐育ヲ本公債元利金支払地ト為スコトヲ得同条第二項ニ會社ハ市場ノ都合ニ依リ本公債ノ全部又ハ一部ヲ倫敦巴里又ハ紐育ニ於テ発行スルコトヲ得トノ規定有之候処將來前二項所定ノ通り実行セラルルニ當リテハ本契約ニ關係アル各条項ハ之ヲ改訂セサルヘカラサルヘク即チ本契約文中一切ノ日本金貨ヲ英貨磅ト改メ又第七条第四項ニ日本ニ日本貨幣ヲ所有スルトキハ東京ニ於テトアルヲ英國ニ英國貨幣ヲ所有スルトキハ倫敦ニ於テト改メ第十条及第十二条ノ支那國駐日公

南滿洲鐵道株式會社代表者

理事 殿

(復 翰)

拝啓今回貴社トノ間ニ四洮鐵道借款契約ヲ締結シタルニ就テハ双方利益ノ為メ貴社ニ於テ四洮鐵道營業開始後同鐵道ヨリ四平街駅ニ出廻ノ貨物ヲ積取ルニ足ルヘキ機關車及貨車ヲ準備セラルル様致度詳細ノ方法ハ貴社ト四洮鐵道督辦トノ間ニ之ヲ協定スルコトト致度旨御照會ノ趣聞悉致候右ニ對シテハ弊社ニ於テ異議無之候

右回答得貴意候 敬具

大正 年 月 日

南滿洲鐵道株式會社代表者

理事

交通総長 殿

(附記一)

五月八日在大連川上滿鐵理事ヨリ在東京龍居滿鐵理事宛電報

四洮鐵道借款契約交渉ハ中國側ノ案ヲ基礎トスルコトニ外務當局ノ認可ヲ得ル様取計方申請ノ件

(五月十一日接受)

使ヲ支那國駐英公使ト改ムルコト等トナルヘク尚巴里或ハ紐育ニテ債券ノ売出ヲナス場合モ英國ニ於ケル債券売出ノ

例ニ依ルヘキ旨御照會ノ趣聞悉致候

右ニ對シテハ本部ニ於テ異議無之候

右回答得貴意候 敬具

中華民國 年 月 日

交通総長

南滿洲鐵道株式會社代表者

理事 殿

(ハ)四洮鐵道ノ出貨ヲ會社ニ於テ連絡輸送スルノ件

(來 翰)

拝啓今回貴社トノ間ニ四洮鐵道借款契約ヲ締結シタルニ就テハ双方利益ノ為メ貴社ニ於テ四洮鐵道營業開始後同鐵道ヨリ四平街駅ヘ出廻ノ貨物ヲ積取ルニ足ルヘキ機關車及貨車ヲ準備セラルル様致度詳細ノ方法ハ貴社ト四洮鐵道督辦トノ間ニ之ヲ協定スルコトト致度候

右照会得貴意候 敬具

中華民國 年 月 日

交通総長

四鄭延長ノ件本日第二回會議ヲ開ク曩ニ小職上京ノ際外務當局ノ認可ヲ得タル契約案(四鄭契約ニ準拠シ一層日本側ニ有利ニ改メタルモノ)ニヨリ協議ヲ進メントセシトコロ

支那側委員モ對案(四鄭契約ノ形式ニ從ヒ更ニ日本側ニ不利トセシモノ)ヲ提出シタル上本契約ヲ四鄭契約ノ続借トナシ成ル可ク同契約ト其ノ形式及ビ内容ヲ同一ニ為サザルニ於テハ再び國會ノ同意ヲ求ムルノ必要ヲ生ジ事面倒ナルノミナラズ或ハ通過困難ナルヤモ計ラレザレバ是非四鄭契約ノ形式及ビ内容ニ由リ國會ニ附議セズシテ成立セシメタシト希望ス右ハ支那側ニ於テ最初ヨリ篤ト講究シタルモノノ由ニテ相当理由アリ且四鄭契約ハ現在ノ鐵道借款契約中ニ於テ最モ有利ナルモノナルノミナラズ今回ノ契約ハ之ガ延長線タル性質ヨリ云フモ之ニ準拠シテ彼我ノ提案ヲ斟酌シ必要ナル改訂ヲ加フルコトスルモ別ニ差支ナシト存ス且北京ノ形勢上此ノ際急ギテ契約ヲ成立セシムルコトハ得策ト思ハルルニ付前記會社提出案ニ依ラズ更ニ四鄭契約ノ形式及ビ内容ニ從ヒテ會社ノ改正意見ハ成ルベク之ヲ其中ニ採用セシムル様交渉シ契約ヲ成立セシムル事ニ致シ度シ此ノ旨外務當局ノ認可ヲ得ル様御配意ノ上至急何分ノ電

願フ(社長御出発前ナラバ承認ヲ得ラレタシ)

(附記二)

五月十五日在大連川上滿鐵理事ヨリ在東京龍居滿鐵理事宛
電報

四洮鐵道借款契約交渉ニ關スル前電申請ニ對スル回電督促
ノ件

本月八日電セシ四鄭延長契約案變更ノ儀至急何分ノ返乞フ
○尤モ契約案協定ノ上ハ其ノ調印前案ヲ具シテ外務省ノ認
可ヲ得ル事ハ勿論ナリ

(附記三)

五月二十三日在大連川上滿鐵理事ヨリ在東京龍居滿鐵理事
宛電報

四洮鐵道借款契約案議了ノ件

四鄭延長ノ件其ノ後ノ會議ニ於テ彼我委員ノ意見一致シ既
ニ契約案ヲ議了セシニ付北京政界ノ近況ニ鑑ミ虞委員ハ急
速北京ニ赴キ小職モ亦上京各政府ノ承認ヲ得成ル可ク速ニ
調印ヲ了スル事協議相纏リ小職ハ明日二十四日天長丸ニテ
出發二十八日着京ノ予定念

(附記四)

五月三十一日牛島滿鐵北京公所長代理ヨリ在東京川上滿鐵
理事宛電報

四洮鐵道借款契約案ニ付北京政府承認容易ノ見込ナル旨報
告ノ件

虞局長三十日來京總長及次長ニ契約ニ關スル報告ヲ為シ草
案ヲ提出セリ四日回答ヲ得ル管承認容易ナル見込、右調印
ハ曹總長辭職ニ先チ急ニ之ヲ行フコト絶対ニ必要ナリ曹氏
ノ請假期ハ來月十五日頃迄ニシテ其後更ニ請假延長ヲ願ヒ
出ソル事ト思フモ或ハ直ニ辭職スルヤモ知レス虞局長ハ理
事十日頃迄ニ歸社サレ大連ニテ会见直ニ北京ニ同道ノ事ト
シ度シト申居レリ契約案ノ印刷ハ吉長契約同様順天時報社
ニテ速ニ出來ル見込ナリ

四八一 六月五日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

四鄭延長線借款契約案ニ速ニ調印スル方時節

柄得策ト思考スル旨稟申ノ件

第八二〇号

(六月六日接受)

四鄭延長線借款契約ハ其後大連ニ於テ當事者間ノ商議順調
ニ進行シ既ニ契約案ヲ協定シ政府ノ認可ヲ得ル為川上理事
目下上京中ニテ一方支那側當事者モ中央政府ノ裁可ヲ經ル
為來京中ナルガ確聞スルトコロニ依レハ右契約案ハ既ニ去

東庶第一三五号

大正八年六月二日附ヲ以テ御認可申請致候四洮鐵道借款契
約案附屬往復文書案第一号ハ横浜正金銀行ニ於テ公債所持
人ニ對スル關係上別紙ノ通り訂正相成度旨申出ラレ候処弊
社ニ於テモ別ニ異存無之候ニ付本契約調印ノ間ニ合ヒ候ハ
ハ訂正致度万一間ニ合ヒ不申節ハ正金銀行トノ關係ニ付テ
ノ右往復文書ヲ取除キ本契約ノ調印相濟マセ追テ更ニ往復
文書ヲ交換スルコトト致度候間併セテ御承認相成候様致度
此段及追申候也

大正八年六月九日

南滿洲鐵道株式会社

社長工學博士 野村竜太郎(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

(附屬書)

四洮鐵道借款契約附屬往復文書(一)ノ訂正案

(一)四洮鐵道借款契約ト四鄭鐵道借款契約トノ關係ニ関

スル件

(往 翰)

拜啓本日調印セル四洮鐵道借款契約第一条第三項ニ四洮鉄

三日交通總長及次長ノ承認ヲ經大總統ニ上申シ今後約一週
間内ニハ裁可ヲ得ヘキ見込ナルガ一方曹總長ノ請假ハ本月
中旬ニテ満了スヘク多分更ニ引続請假ノコトトナルヘキカ
ト察セラルルモ或ハ急転直下總長ノ辭職交渉ヲ見ルコトナ
キヲ保シ難ク旁支那側ニ於テハ大總統ノ裁可アリ次第第一日
モ速ニ調印ヲ了シタキ希望ヲ有シ居ル趣ニ有之右ハ至極尤
ノ義ト思考セラレ遲滞ナク諸般ノ手續ヲ完了セシメ置クコ
ト時節柄得策ナリト認メララルルニ付テハ契約案ニ對シテハ
我方ニ於テモ此上遷延スルコトナク多少ノ欠点ハ之ヲ犠牲
トシ一日モ速ニ認可ヲ与ヘラルルト同時ニ川上ヲシテ速ニ
來燕調印ヲ了セシメララルル様御配意アリタシ御詮議ノ結果
御電報ヲ請フ

四八二 六月九日 野村滿鐵總裁ヨリ
内田外務大臣宛

四洮鐵道借款契約附屬往復文書案(一)ノ訂正方

契約調印二間ニ合ハザル節ハ該文書ノ交換ハ

契約調印後ニ致シ度キ旨申請ノ件

附屬書 右往復文書(一)ノ訂正案

道本線中四平街ヨリ起リ鄭家屯ニ至ルモノニ付テハ前ニ政府ト横浜正金銀行トノ間ニ四鄭鐵道借款契約ヲ訂結シタルヲ以テ右四鄭鐵道借款契約ト本契約トノ關係ハ別ニ往復文書ヲ以テ之ヲ定ムトノ規定有之候処元來四洮鐵道借款契約ハ弊社カ四鄭鐵道借款契約第二十三条ニ依リ同鐵道督辦ノ承認ヲ受ケ同鐵道借款契約ニ依リ横浜正金銀行ノ享有スル權利及義務ノ一部ヲ讓受ケタル結果訂結セラレタルモノニシテ今後ハ四鄭鐵道モ四洮鐵道ノ一部トシテ經營致候方有利ニシテ便宜多カルヘシト存候ニ付四鄭鐵道借款契約及同契約附屬往復文書ノ条項ニ依リ横浜正金銀行カ有スル權利義務ニ關スル一切ノ事項ハ同行ノ委任ニ依リ当社ニ於テ代弁可致從ツテ支那政府五分利付四鄭鐵道公債元利金仕払基金及元利仕払手数料ノ如キモ当社ニ於テ領収ノ上同銀行ニ交付シ同銀行ニテ公債所持者ニ支払フコトト致度候間御同意相成度候

右照會得貴意候

大正 年 月 日

南滿洲鐵道株式會社

理事

右回答得貴意候 敬具

中華民國 年 月 日

交通總長

南滿洲鐵道株式會社

理事 殿

四八三 六月十日 閣議決定

四洮鐵道借款契約案支持ニ關スル件

過般來南滿洲鐵道會社ト四鄭鐵道支那當局トノ間ニ鄭家屯洮南間ヲ本線トシ鄭家屯白音太拉間ヲ枝線トスル借款契約ニ付交渉ノ次第アリタルカ最近右當事者間ニ大体四鄭鐵道借款契約ヲ標準トスル一成案ヲ得ルニ至リタル趣ヲ以テ南滿洲鐵道會社ヨリ政府ノ承認ヲ申請シ來レリ元來同鐵道本線ハ大正二年在支日本公使ト支那政府トノ間ニ於ケル交換公文ニヨリ借款大綱成立シタル滿蒙五鐵道中ノ一部ニ該當シ又同枝線ハ大正六年中滿鐵ヨリ資金供給方支那政府ニ交渉ヲ遂ケ度旨申出アリタルニ對シ同年六月二十五日閣議決定ニヨリ承認ヲ与ヘタル鄭家屯開魯線ノ一部ニ當リ且右ニ基キ同年中在支日本公使ニ於テ帝國政府ノ訓令ニヨリ交渉

六 四洮鐵道關係一件 四八三 四八四

交通總長殿

(復 翰)

拜啓本日調印セル四洮鐵道借款契約第一条第三項ニ四洮鐵道本線中四平街ヨリ起リ鄭家屯ニ至ルモノニ付テハ前ニ政府ト横浜正金銀行トノ間ニ四鄭鐵道借款契約ヲ訂結シタルヲ以テ右四鄭鐵道借款契約ト本契約トノ關係ハ別ニ往復文書ヲ以テ之ヲ定ムトノ規定有之候処元來四洮鐵道借款契約ハ弊社カ四鄭鐵道借款契約第二十三条ニ依リ同鐵道督辦ノ承認ヲ受ケ同鐵道借款契約ニ依リ横浜正金銀行ノ享有スル權利及義務ノ一部ヲ讓受タル結果訂結セラレタルモノニシテ今後ハ四鄭鐵道モ四洮鐵道ノ一部トシテ經營致候方有利ニシテ便宜多カルヘシト存候ニ付四鄭鐵道借款契約及同契約附屬往復文書ノ条項ニ依リ横浜正金銀行カ有スル權利義務ニ關スル一切ノ事項ハ同行ノ委任ニ依リ当社ニ於テ代弁可致從ツテ支那政府五分利付四鄭鐵道公債元利金仕払基金及元利仕払手数料ノ如キモ当社ニ於テ領収ノ上同銀行ニ交付シ同銀行ニ於テ公債所持者ニ支払フコトト致度旨御照會ノ趣聞悉致候

右ニ對シテハ本部ニ於テ異議無之候

開始方支那政府ニ申入レタル行懸アルノミナラス僅々五十余哩ニ過キサル四鄭鐵道ノ經營上ヨリ云フモ滿鐵ノ營養線タル關係ヨリ云フモ將又滿蒙ノ連絡及同地方開發ノ実ヲ拳クル上ヨリ云フモ本件鐵道ハ速ニ其ノ敷設ヲ見ルニ至ルコト得策ト思考ス尚本鐵道敷設ニ要スル四千五百万円ハ滿鐵ニ於テ民間ヨリ募集スルコトニ努ムル趣ニ付政府ニ於テモ事情ノ許ス限リ本件ノ成立ヲ支持スルコトト致度シ

註 右文書ノ冒頭余白ニ左ノ書入アリ

「大正八年六月十日閣議決定(内田外相印)」

四八四 六月十二日 内田外務大臣ヨリ 在中國小幡公使宛(電報)

日本政府ハ滿鐵提出ノ四洮鐵道借款契約案ヲ

認可セル旨通報ノ件

第七九五号

貴電第八二〇号ニ關シ

政府ニ於テハ本件鐵道借款ハ諸般ノ關係ニ顧ミ速ニ成立ヲ見ルニ至ルコト得策ト認メ六月九日滿鐵ニ對シ其ノ提出セル契約案ヲ認可セリ尚当地滿鐵支社ヨリ直チニ其ノ旨川上ニ電報シ速ニ調印ノ運トナル様電訓シタル趣ナリ

四八五 九月二日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

四鄭延長線借款ノ国会附議ヲ避ケ大總統ノ裁
可ヲ得ル様取計方ニ関シ中国側ヨリ申出ノ件

附記一 八月二十一日牛島滿鉄北京公所長代理ヨリ在東

京川上滿鉄理事宛電報写

中国側ハ四洮鐵道借款契約ヲ議會閉会後調印ノ
意向ナル旨並中国側ハ二百万円ノ短期借款ヲ希
望シ居ル旨報告ノ件

二 八月二十一日牛島滿鉄北京公所長代理ヨリ在東
京川上滿鉄理事宛電報写

中国側希望ノ二百万円ノ短期借款申出ニ対シ新
邱運行鐵道ヲ許可セシムル事ニ付意見具申ノ件

第一一九八号 (九日六日接受)

四鄭鐵道延長ノ件ニ関シ過日來当地牛島ト交通部ト非公式
ニ往復ノ次第ハ其ノ都度牛島ヨリ滿鉄東京支社ヘノ電報ニ
テ御承知相成居ルコトト存スル処其間本使ヨリモ國務總理
代理及交通總長代理ヘ督促ヲ試ミ先方ニ於テ調印自体ヲ回
避スル模様ナキモ国会ヘ附議スルヲ避クル為ニハ国会開會
中ハ勿論休会中モ臨時国会開會迄ノ期間余リニ短ク調印ヲ

便トセストテ要領ヲ得サリシ処九月一日周家彦國務總理代
理ノ使トシテ本使ヲ來訪シ交通總長代理トモ相談ノ結果ト
シテ先ツ四鄭局長ト日本資本家トノ間ニ四鄭ト同一ノ条件
ニテ契約シ交通部ヘ稟請ノ上國務會議ヲ經テ大總統ノ批准
ヲ受ケ国会ノ同意ヲ求ムルヲ避クルコトトシタキ旨申出タ
リ然ルニ牛島ハ本件協議旁目下大連ヘ赴キ居ルニ付周ニ対
シテハ滿鉄代表者不在ニ付滿鉄本社ヘ轉達シ置クヘキ旨答
ヘ当地滿鉄留守居ノ者ヲシテ滿鉄本社ヘ電報セシメ置キタ
リ就テハ貴方ニ於テ滿鉄側トモ御協議ノ上何分ノ儀御決定
アリタシ(二日)

(附記一)

八月二十一日牛島滿鉄北京公所長代理ヨリ在東京川上滿鉄
理事宛電報写

中国側ハ四洮鐵道借款契約ヲ議會閉会後調印ノ意向ナル旨
並中国側ハ二百万円ノ短期借款ヲ希望シ居ル旨報告ノ件

大正八年八月 二十一日午後發
二十二日午前着

北京 牛島吉郎

川上理事宛

大連本社宛左ノ通り電セリ

ヌル有様ニテ焦眉ノ急ニ迫レル支出アリ金五百万円位ハ是
非調達シタキ由ニテ此短期借款ノ成立ヲ待ツコト想像以上
ナルガ如ク交通部幹部ハ其成立ヲ見ルコトヲ得バ閣員全部
モ之ニ風潮ヲ顧慮セズ調印ニ賛成スルコト明カナルモ若シ
成立セサレバ閣員ノ反対ヲ防グコト困難ナルヤモ知レズ之
カ為メ完全ナル調印纏ラサルヤモ知レスト云フガ示教願ヒ
タシ

(附記二)

八月二十一日牛島滿鉄北京公所長代理ヨリ在東京川上滿鉄
理事宛電報写

中国側希望ノ二百万円ノ短期借款申出ニ対シ新邱運行鐵道
ヲ許可セシムルコトニ付意見具申ノ件

大正八年八月 二十一日午後發
二十二日午後着

北京 牛島吉郎

川上理事宛

本社宛左ノ通電セリ

前電ノ短期借款ハ支那政府ニハ多々益々都合ヨク最少限ヲ
金二百万円トスルモノノ由ニテ支那政府ノ此借款ヲ切望ス
ルコトハ事実ト信セラレ之カ曾代理總長ノ手ニテ成立セバ

四洮契約ニ付公使ノ問合セナキモ前電通り曾代理總長及龔
代理總理ガ九月一日議會閉会後臨時議會開會迄ニ重大ナル
故障起ラサル限り調印ヲ了ル決心ナルコト確實ナリ但シ曾
氏ハ調印ノ時期ハ急激ニ取極メラルベケレバ川上理事ハ當
方ノ電報ヲ待チ直チニ退京大連ニテ待合セラレタク若シ万
一ノ不成立ヲ虞レラルレバ小職ニ代理調印ヲ委任シ置カル
ルトモ宜シカルヘシト言明セル由尚曾氏ハ右同時ニ虞氏カ
曩ニ御内諾ヲ得タル前渡金三百万円ノ外尚金二百万円短期
借款ノ世話ヲ頼ミタシト云ヒシ旨虞氏ヨリ取り次キアリ小
職ハ之ニ対シ会社ガ事業借款以外ノ借款ニ応スルコト又ハ
其世話ヲ此際日本政府ノ許可ヲ得ルコト困難ナルヘシトノ
意見ヲ述ヘタル処然ラハ四鄭局借主トナリ交通部之ヲ保証
シ期限ヲ一カ年トシ其他ノ条件ハ会社ノ意見ニ從ヒ取極メ
テ差支ナキ故是非御配慮ヲ乞フ旨更ニ取り次キ來リシヨリ
小幡公使ハ右ハ足許ヲ見テノ依頼トモ思ハルル故之ヲ拒絕
シ専ラ調印ヲ促シ致シ方ナケレバ適當ノ時機迄待ツヘシト
告クルコト如何ト思フ之ニテ先方ハ此際結局以前ノ条件ニ
テ調印サルコトトナルヘシトノ意見ナルガ支那政府ニテハ
各部官吏ノ俸給ノミナラズ外人顧問ノ俸給サヘ支払ヒ兼

其功勞ハ調印其他ニ付他ノ閣員ヲ同意セシムルニ足ルコト
事実ト思ハル若シ直チニ之ヲ拒絶スルコトナレバ万一ノ
場合調印ニ付異論ナキヲ保シ難ケレバ此際会社ハ調印ハ兎
モ角以前ノ条件ノミニテ之ヲ請求シ川上理事本月末迄ニ帰
連シ居ラレ或ハ何時ニテモ直チニ調印シ得ル代理者ヲ設ケ
置カルルコトトシ短期借款ハ之ヲ別トシ日本政府ノ承認サ
ヘアレバ誓ツテ周旋ノ勞ヲ取ルヘキ旨答ヘ置カレ之ト交換
的ニ新邱運行鐵道ノ許可ヲ得ルコトトサレテハ如何ト思考
ス而シテ交通部ニ對シテハ右炭砒ハ大倉組ト支那側トノ合
弁經營ニテ会社ハ之ト石炭販売ノ約束ヲ為スモノナルガ該
炭砒ハ目下運行鐵道布設ヲ願ヒ出テ居リ交通部カ此際該炭
砒申出通り之ヲ許可スルコトナレバ大倉組ヲシテ其借款
ニ応セシムヘシト申出テ實際ハ会社ヨリ融通シ金額ヲ金二
百万円ノ期限ヲ一ケ年、担保ヲ郵便切手或ハ支那内国公債
證書、借り主ヲ四鄭局、用途名義ヲ車輛購置費トシ返済ニ
付テハ交通部之ヲ保証スルコトトシ日本政府ノ承認ニ付テ
ハ支社ニテ外務省ト交渉サルル外小幡公使ノ尽力ヲ借ルコ
トトサレテハ如何ト思考ス交通部ノ右運行鐵道ノ許可モ議
会閉会中最モ好キ時機ト思ハル御差支ナケレバ御訓電ニ依

報告ノ件

一、公債ノ發行ハ山東問題ノ解決後トシ夫レ迄ハ双方契約
ノ成立ニ付極秘ヲ守ルコト

二、調印ノ日附ハ邇テ議會閉会中ナル九月八日トセルコト
註 本文書欄外ニ本文書ハ九月十九日松本（蒸色）滿鐵理事ガ
持参セル旨ノ記載アリ

四八八 九月二十日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

四洮鐵道借款契約調印済ニ関シ報告ノ件

附記 右借款契約

第一二七五号

（九月二十一日接受）

往電第一二〇〇号ニ関シ其後ノ曲折ハ滿鉄ヨリ御聴取ノ事
ト存スル処九月十七日川上理事ト交通総長代理トノ間ニ去
ル六月双方協議決定ノ契約案通リニテ調印ヲ了セリ右ハ議
会等ノ關係モアリ調印済ノ事自体ヲモ当分蔽ニ極秘ニ附ス
ル約束ナル趣ニ付右御含アリタシ

（附記）

四洮鐵道借款契約

大正二年十月五日即中華民國二年十月五日ノ借款大綱ニ基

リ交通部ト大体打合せ詳細ハ小職出社御打合せスルコトト
シテハ如何ナルヘキヤ御訓電願ヒタシ

四八六 九月二日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

四鄭鐵道延長借款契約ノ形式ニ関スル交通部
ノ意向トシテ牛島滿鉄北京公所長代理ノ伝フ
ル所報告ノ件

第一二〇〇号

（九月四日接受）

往電第一一九八号ニ関シ

牛島九月二日朝歸来前述周家彦申出ノ内容ニ関シ猶交通部
ニ付確メタル所ニ依レハ滿鉄ト四鄭局長トノ契約ハ文書交
換ニ依リ右文書ノ如キ四鄭契約ニ依ルモ別紙記載ノ諸点ハ
右文書ニ依ルトノ趣旨ヲ記シ別紙トシテ先ニ議了ノ四洮契
約案ノ四鄭契約ト異ナル点ヲ列挙シ結局実質ニ於テ議了四
洮契約案ト同一トスル考ナリトノコトナル趣ナリ為念

四八七 九月十九日 南滿洲鐵道株式会社ヨリ
外務省宛

四洮鐵道借款契約成立ハ当分極秘トスルコト
及調印ノ日附ハ九月八日トスルコト等ニ関シ

キ大正八年九月八日即中華民國八年九月八日北京ニ於テ支
那政府（以下政府ト称ス）ヲ代表スル財政總長及交通總長
ト日本国南滿洲鐵道株式会社（以下会社ト称ス）トノ間ニ
契約スルコト左ノ如シ

第一条 政府ハ会社ニ五分利附政府金貨公債四千五百万円
ヲ發行スルノ權限ヲ付与ス

本公債ハ支那政府五分利附四洮鐵道公債ト称シ發行ノ日
ヲ以テ其ノ日附ト為ス

四洮鐵道本線中四平街ヨリ起リ鄭家屯ニ至ルモノニ付テ
ハ前ニ政府ト横浜正金銀行トノ間ニ四鄭鐵道借款契約ヲ
訂結シタルヲ以テ右四鄭鐵道借款契約ト本契約トノ關係
ハ別ニ往復文書ヲ以テ之ヲ定ム

第二条 本公債ノ募集金ハ四鄭線ヲ延長シテ洮南ニ至ル本
線及鄭家屯ヨリ白音太来ニ至ル支線ノ建造費（土地車輛
其ノ他一切ノ設備材料ノ購買費ヲ含ム）營業費及建造中
ニ於テ支払フヘキ本公債利子ニ充ツルノ外四鄭鐵道補充
費ニ充當ス

第三条 前条ノ線路ハ測量完成ノ上本鐵道督辦会社之ヲ協
定シ交通部ノ認可ヲ受クルモノトス

右線路ノ建造ハ本契約調印後六箇月以内ニ起工シ實際起工ノ時ヨリ凡ソ五箇年以内ニ完成スヘシ

第四条 本公債ノ利率ハ額面金額ニ対シ一箇年百分ノ五トシ半年毎ニ公債所持人ニ之ヲ支払フモノトシ公債発行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

政府ハ右利子ヲ本鐵道建造中ハ公債募集金又ハ其ノ他ノ財源ヨリ完成後ハ先ツ本鐵道收入ヨリ次ニ政府カ適當ト認ムル其ノ他ノ收入ヨリ本契約附表所載ノ金額ニ從ヒ公債発行ノ日ヨリ半年毎ニ計算シ各期日十四日前ニ支払フモノトス

第五条 本公債ノ期間ハ四拾箇年トシ元金ハ公債発行ノ日ヨリ之ヲ起算シ第拾壹年日ヨリ其ノ償還ヲ始ム

右償還ハ本鐵道收入又ハ政府ノ適當ト認ムル其ノ他ノ收入ヲ以テ第六条ノ場合ヲ除キ本契約附表所載ノ金額ニ從ヒ年賦ニ依リ公債発行ノ日ヨリ起算シ各期日拾四日前ニ之ヲ行フモノトス

第六条 本公債発行ノ日ヨリ十箇年ヲ經過シタル後ハ何時タリトモ政府ハ本契約附表所載ノ期限ニ達セサル本公債未償還額ノ全部又ハ一部ヲ臨時ニ償還スルコトヲ得此ノ

ヲ告クルトキハ政府ハ他ノ財源ヨリ之ヲ補足シ期日拾四日前ニ之ヲ会社ニ交付スヘシ

第九条 本公債ハ現在及將來ニ於テ本鐵道ニ屬スル一切ノ動産及不動産並本鐵道一切ノ收入ニ依リテ第一位ニ担保セラル

第十五条 第一項ノ規定ニ基キ發行セラルヘキ公債モ亦前項ノ動産不動産及收入ニ依リ本公債ト同順位ニ於テ担保セラル

本公債ノ担保ハ之ヲ前二項以外ノ債務ノ担保ト為スコトヲ得ス

第十条 会社ハ本公債全額ニ対シ会社ニ於テ適宜定ムル額面金額ノ公債証書ヲ發行スルコトヲ得其ノ様式ハ会社ニ於テ交通總長又ハ日本駐劄支那公使ト之ヲ協定ス公債証書ハ日支兩國語ヲ以テ之ヲ印刷シ交通總長ノ署名及交通部印ヲ印写ス又日本駐劄支那公使ハ公債証書發行ニ先チ各証書ニ署名及官印ヲ印写セシメ以テ公債ノ發行カ政府ノ許可ニ依ルコト及政府ヲ拘束スルコトヲ証明シ会社モ亦本公債發行取扱者トシテ其ノ代表者ヲシテ証書ニ署名セシムヘシ

場合ニ於テハ第貳拾年目迄ハ額面百分ノ貳半ノ割増即金壹百円ニ付金壹百零貳円五拾錢ヲ支払ヒ第貳拾壹年目以後ハ割増ナシニ之ヲ行フコトヲ得

前項臨時償還ノ場合ニ於テハ政府ハ六箇月以前ニ書面ヲ以テ之ヲ会社ニ通知スヘシ

臨時償還ハ本公債募集目論見書ニ定メタル普通償還抽籤ノ当日追加抽籤ヲ以テ之ヲ行フモノトス

第七条 政府ハ会社ヲ本公債事務ノ取扱者ニ指定シタルニ付本契約附表所載ノ金額ニ從ヒ各期日拾四日前ニ督辦ヲ經テ第四条及第五条所載ノ元利金ヲ会社ニ交付スヘシ政府ハ第六条ニ規定セル臨時償還ノ場合ニ於テモ亦期日拾四日前ニ必要ノ元金及割増金ヲ会社ニ交付スヘシ

前二項ノ場合政府ハ日本貨幣ヲ以テ大連ニ於テ支払フモノトス若シ政府ニシテ日本ニ日本貨幣ヲ所有スルトキハ東京ニ於テ支払フコトヲ得

会社ハ本公債元利金支払ノ費用ニ充ツル為メ其ノ取扱金額ニ対シ毎回千分ノ貳半ノ手数料ヲ受クルモノトス

第八条 政府ハ本公債ノ元利金支払ヲ無條件ニ保証シ本鐵道收入又ハ本公債募集金ニシテ本公債元利金支払ニ不足

本公債証書ニシテ紛失滅失シ又ハ盜取セラレタルトキハ会社ハ直ニ交通總長又ハ日本駐劄支那公使ニ通知シ且同証書ノ支払停止ヲ新聞紙上ニ広告シ並關係國ノ法律習慣ニ從ヒ便宜又ハ必要ト認ムル措置ヲ執ルヘシ右公債証書ニシテ会社ノ定メタル期間内ニ発見セラレサルトキハ交通總長又ハ日本駐劄支那公使ハ同額ノ副証書ヲ作製シ会社ニ交付スヘシ右ニ關スル一切ノ費用ハ会社ニ於テ之ヲ負担ス

第十一条 政府ハ本公債証書並利札及本公債元利金ノ受払ニ關シテハ本公債期間中一切ノ公課ヲ免除ス

第十二条 公債募集目論見書及元利金支払其ノ他ニ關スル詳細ノ事項ニシテ本契約ニ明文ナキモノハ会社ニ於テ日本駐劄支那公使ト協定スヘシ

会社ハ第十三条ノ規定ニ從ヒ本契約調印次第本公債募集目論見書ヲ發行スルコトヲ得政府ハ日本駐劄支那公使ニ對シ必要ニ応シ会社ト協力スルコト及本公債目論見書ニ署名スルコトヲ訓令スヘシ

第十三条 会社ハ工事ノ計畫並其ノ進行ノ程度及市場ノ狀況ニ応シ督辦ト協議ノ上本公債ヲ一回ニ又ハ數回ニ分チ

発行スルコトヲ得

政府手取額ハ発行手数料トシテ発行価格ヨリ額面ノ百分ノ五半ヲ控除シタルモノトス

第十四条 本公債募集金ハ公債応募者ノ分割払込額及其ノ期日ニ從ヒ会社ニ於テ督辦ト協議指定セル銀行ノ本鐵道局勘定ニ繰入ルルモノトス本公債ノ募集金及其ノ利子ハ同銀行ニ預ケ置キ督辦ノ使用ヲ俟ツ其ノ利率及送金ノ方法ハ督辦ト銀行トノ協定ニ依ル

前項預金ノ支出ハ督辦及會計主任ノ連署セル支払命令及使途明細書ヲ以テ証憑ト為ス

建造費毎月見積高ニ対スル資金ハ督辦ノ請求次第ニ大連ニ送金セラルヘシ送金ハ右銀行之ヲ取扱ヒ本鐵道ノ用途ニ供セラルル迄在大連銀行ニ於ケル預金タルモノトス會計主任ニハ日本人ヲ以テ之ニ充テ督辦ニ於テ会社ノ同意ヲ得テ之ヲ任命ス其ノ傭聘契約ハ督辦ニ於テ之ヲ定ム會計主任ハ會計部所要内外人員表ヲ督辦ニ提出シ督辦之ニ依リテ任命ヲ行フ會計主任ハ右人員各自ノ分担事務ヲ定ム

會計主任ハ本公債期間内督辦又ハ総辦ノ命ヲ承ケ本鐵道

在地ニ居住シ政府ヲ代表シテ本契約ノ規定ニ依リ本鐵道ニ關スル事務ヲ行フノ全權ヲ有ス

技師長ニハ日本人ヲ以テ之ニ充テ督辦ニ於テ会社ノ承諾ヲ得テ之ヲ任命ス其ノ傭聘契約ハ督辦ニ於テ之ヲ定ム

技師長ハ督辦又ハ総辦ノ命ヲ承ケ本鐵道線路ノ測量設計及見積ヲ為シ且一切ノ工事ヲ指揮監督シ並鐵道建造ニ必要ナル材料機械其ノ他ノ物件ノ注文ヲ為ス

技師長ハ技術部所用内外人員表ヲ督辦ニ提出シ督辦之ニ依リテ任命ヲ行フ

技師長ハ右人員各自ノ分担事務ヲ定ム

技師長ハ督辦又ハ総辦ヨリ内外専門技術員ノ任免及其ノ事務ノ分担ニ付必要ナル措置ヲ執ルノ權限ヲ付与セラルヘシ

本鐵道ノ各区域ハ其ノ完成スルニ從ヒ技師長ヨリ之ヲ督辦ニ引渡シ督辦ハ事情ノ許ス限り速ニ当該区域ノ運輸ヲ開始スルモノトス

督辦ハ日本人姓名ヲ運輸主任ニ任命ス運輸主任ハ督辦又ハ総辦ノ命ヲ承ケ運輸ヲ掌ル

本鐵道ノ工事完成シ技師長ノ任務終了シタル場合ニハ督

ニ關スル一切ノ収支ヲ管理シ且本鐵道ニ關スル支出ニ付一切ノ書類ニ総辦ト連署ス

本鐵道ニ關スル諸勘定ハ會計主任指揮ノ下ニ支那各鐵道通行簿記法ニ拠リ日支兩國語ヲ以テ記帳スヘシ

鐵道局ハ其ノ營業開始後毎年度終了後ニ於テ日支兩國語ヲ以テ決算報告書ヲ刊行シ請求ニ応シ之ヲ交付スヘシ

第十五条 本公債募集金並其ノ利子ニシテ建造中ニ要スル本公債利子ヲ控除シタル後本鐵道ノ建造及設備ヲ完成スルニ不足ナルトキハ政府ハ他ノ財源ヨリ右不足額ヲ支出ス若シ尚不足ヲ告クルニ於テハ会社ニ由リテ発行スル公債ヲ以テ之ヲ補足スヘク其ノ利子其ノ他ノ条件ハ本契約ニ於ケルト同一タルヘシ

本鐵道完成後本鐵道局勘定ニ使途ヲ有セサル預金殘高アルトキハ之ヲ第十八条ニ規定セル公債利子準備金勘定ニ振替ヘ以テ政府カ本契約ニ依テ義務ヲ負フ支払ノ準備トス

第十六条 本鐵道ノ建造及管理ハ一切政府ニ於テ之ヲ行フモノトス

政府ハ本鐵道督辦一名ヲ任命ス督辦ハ常ニ本鐵道線路所

辦ハ更ニ日本人姓名ヲ保線技師ニ任命シ技師長ノ職ヲ解クヘシ保線技師ハ督辦又ハ総辦ノ命ヲ承ケ鐵道ノ保存ヲ掌ル運輸主任及保線技師ハ督辦ニ於テ会社ノ承諾ヲ得テ之ヲ任命ス其ノ傭聘契約ハ督辦ニ於テ之ヲ定ム

第十七条 本鐵道ヲ保護スル為メ巡警隊ヲ設置シ警官警兵ハ共ニ支那人ヲ採用スヘク其ノ俸給費用ハ総テ鐵道建造及保線ノ費目ヨリ之ヲ支出スヘシ

前項ノ人数及金額ハ本鐵道督辦ニ於テ会社ト協議ノ上之ヲ定ム

若シ本鐵道ヲ保護スル為メ支那政府又ハ当該省ノ軍隊ヲ必要トスルトキハ本鐵道局ヨリ申請アリ次第直ニ其ノ手続ヲナスヘシ

前項軍隊ノ給与等ニ關スル費用ハ支那政府又ハ当該省ニ於テ之ヲ支弁ス

第十八条 本鐵道一切ノ收入ハ之ヲ第十四条所定ノ銀行ニ預ケ入ルヘシ其ノ預金ノ利率及其ノ他ノ条件ニ付テハ督辦ト同銀行トノ間ニ之ヲ協定ス

本鐵道營業費及保存費ハ総テ右收入ヨリ支出シ其ノ殘額ハ之ヲ本公債利子支払並本契約附表ニ依ル元金償還ニ対

スル相當準備ニ充テ尚剰余アルトキハ政府ハ本鐵道督辦ノ決スル方法ニ從ヒ之ヲ使用スルコトヲ得ヘシ但鐵道全部開通後ハ本契約附表ニ依リ元利金ヲ支払フニ足ル金額ヲ前記剰余金ヨリ控除シ各期日六箇月前ニ之ヲ右銀行ニ預ケ入ルヘシ

若シ鐵道收入ニシテ元利金ヲ支払フニ足ル剰余金ナキトキハ本契約第八條ノ規定ニ從フ

第十九條 政府ハ本鐵道建造中外国ヨリ輸入スヘキ材料機械其ノ他ノ物件ノ購買ヲ掌ル取扱者トシテ会社ヲ指定ス右購買中其ノ重要ナルモノニ付テハ本鐵道督辦ニ於テ之ヲ入札ニ附ス取扱者ハ鐵道ノ為メ最有利ナル条件ヲ以テ右購買ノ入札約定又ハ注文ヲ為シ購買原価及其ノ百分ノ五ノ取扱手数料ヲ受ク但注文及費用ノ支出ニ付テハ技師長ヨリ督辦ニ申請シ其ノ認可ヲ受ケタル後ニアラサレハ之ヲ行フヲ得ス

取扱者ハ前記手数料ノ支払ヲ受クルニ因リ鐵道ノ建造設備ニ必要ナル一切ノ外国材料ノ購買ヲ監督シ一般市場ニ就キ價格最低ニシテ品質良好ナルモノヲ購買スヘシ右購買材料ニシテ支那ニ到着後注文文明細書ニ符合セサルトキ

載鐵道線路ノ支線又ハ延長線ヲ建造セントスル場合ニハ政府ハ支那ノ財源ヨリ生シタル資金ヲ以テ之ヲ為スヘク若シ外債ニ依リ之ヲ建造セントスルトキハ会社ニ優先權ヲ与フルモノトス右支線又ハ延長線ノ里程ハ政府之ヲ決定ス

第二十一條 会社ハ公債証書所持人ノ受託者タルモノトス從テ本公債ニ関スル事項ニ付本鐵道局ト会社トノ間ニ交渉ヲ為ス場合ニ於テハ会社ハ公債証書所持人ノ代理人タルヘシ

第二十二條 本契約調印後公債募集目論見書發行前若シ市場及支那政府現存公債ノ市価ニ影響スヘキ政治上又ハ經濟上ノ事變發生シ会社ニ於テ本契約ノ条件ニテハ本公債發行ノ成功不可能ナルヲ認メタル場合ニハ会社ハ政府ト協定スル相當期間本契約ノ履行ヲ延期スルコトヲ得若シ右期間内ニ仍ホ其ノ發行ヲ見サルニ於テハ本契約ハ之ヲ無効トス此ノ場合ニ於テハ政府ハ会社ニ對シ何等ノ報酬ヲ与ヘサルモノトス

第二十三條 会社ハ本契約ニ依リ享有スル權利ノ全部又ハ一部ヲ再讓渡又ハ複委任ノ權利及其ノ負担スル義務ト共

ハ鐵道局ハ之ヲ拒絕スルコトヲ得ルモノトス
外国材料機械其ノ他ノ物件ヲ購買スルニ當リ其ノ品質價格同一ナルトキハ最先ニ日本品ヲ次ニ取扱者ノ推薦スル国ノモノヲ購買スヘシ

送狀及検査人証明書ハ之ヲ督辦ニ提出シ各種ノ割戻及割引ハ鐵道局ニ帰ス

取扱者ハ鐵道ノ為メニスル購買ニ付テハ總テ製造者ノ送狀及検査人証明書ヲ以テ証憑トナス

取扱者ニ對シテハ前記取扱手数料ノ外別ニ手数料ヲ支給セス但顧問技師ヲ聘用スル場合ニハ鐵道局ハ本鐵道局勘定ヨリ其ノ報酬ヲ支給スヘシ

若シ支那產材料及支那製品ニシテ其ノ品質價格カ日本品又ハ他ノ外国ノ製產物ト同一ナルトキハ支那產業獎勵ノ為メ最先ニ之ヲ購買スヘシ右購買ニ付テハ取扱者ニ取扱手数料ヲ支給セス

取扱者ハ本鐵道建造完成後ニ於テモ本公債期間中ハ鐵道局所要外国品ノ供給ニ関スル取扱事務ニ對シテ優先權ヲ有スルモノトス其ノ取扱条件ハ追テ之ヲ協定スヘシ

第二十條 政府ニ於テ今後有利又ハ必要ト認ムル本契約所

ニ他ノ日本人ニ讓渡シ又ハ委任スルコトヲ得但右讓渡再讓渡又ハ委任複委任ハ本鐵道督辦ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第二十四條 会社ハ本公債ノ流通ニ便ナラシムル為メ証書ニ額面金額相當ノ一定英貨額仏貨額又ハ米貨額ヲモ記載シ並日支兩國語ノ外英語又ハ仏語ヲ以テ之ヲ印刷シ且倫敦巴里又ハ紐育ヲ本公債元利金支払地ト為スコトヲ得
会社ハ市場ノ都合ニ依リ本公債ノ全部又ハ一部ヲ倫敦巴里又ハ紐育ニ於テ發行スルコトヲ得

第二十五條 本契約ハ調印ト同時ニ効力ヲ生シ借款元利完済ト同時ニ其ノ効力ヲ失フ

第二十六條 本契約ハ日本文及支那文ヲ以テ各四通ヲ作成シ其ノ内各三通ヲ政府ニ各一通ヲ会社ニ保存ス本契約ノ解釈ニ関シ疑義ヲ生シタル場合ニハ日本文ヲ以テ之ヲ決ス

中華民國八年九月八日

財政總長 龔 心 湛

代交通總長 曾 毓 雋

大正八年九月八日

南滿洲鐵道株式會社代表者

理事 川上俊彦

(附表) (註 本契約第六條參照)

四洮鐵道五分利附日本金貨四千五百万円
公債四十箇年期限元利金支払表

年次	利 息	毎次元金償還額	元金償還済累計	元金未償還額
第一年	二、二五〇、〇〇〇、〇〇〇	五四〇、〇〇〇、〇〇〇	五四〇、〇〇〇、〇〇〇	四五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
第二年	二、二五〇、〇〇〇、〇〇〇			四五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
第三年	二、二五〇、〇〇〇、〇〇〇			四五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
第四年	二、二五〇、〇〇〇、〇〇〇			四五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
第五年	二、二五〇、〇〇〇、〇〇〇			四五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
第六年	二、二五〇、〇〇〇、〇〇〇			四五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
第七年	二、二五〇、〇〇〇、〇〇〇			四五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
第八年	二、二五〇、〇〇〇、〇〇〇			四五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
第九年	二、二五〇、〇〇〇、〇〇〇			四五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
第十年	二、二五〇、〇〇〇、〇〇〇			四五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
第十一年	二、二五〇、〇〇〇、〇〇〇	五四〇、〇〇〇、〇〇〇	五四〇、〇〇〇、〇〇〇	四五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
第十二年	二、二五〇、〇〇〇、〇〇〇			四五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
第十三年	二、一八七、九〇〇、〇〇〇			四三、七五八、〇〇〇、〇〇〇
第十四年	二、一五〇、〇〇〇、〇〇〇			四二、二四六、〇〇〇、〇〇〇
第十五年	二、一一二、三〇〇、〇〇〇			四一、四三六、〇〇〇、〇〇〇
第十六年	二、〇七一、八〇〇、〇〇〇			四〇、五八一、〇〇〇、〇〇〇
第十七年	二、〇二九、〇五〇、〇〇〇			三九、六八一、〇〇〇、〇〇〇
第十八年	一、九八四、〇五〇、〇〇〇			三八、七三六、〇〇〇、〇〇〇
第十九年	一、九三六、八〇〇、〇〇〇			三七、七四六、〇〇〇、〇〇〇

第二十一年	一、八八七、三〇〇、〇〇〇	一、〇三五、〇〇〇、〇〇〇	八、二八九、〇〇〇、〇〇〇	三六、七一、〇〇〇、〇〇〇
第二十二年	一、八三五、五五〇、〇〇〇	一、〇八〇、〇〇〇、〇〇〇	九、三六九、〇〇〇、〇〇〇	三五、六三一、〇〇〇、〇〇〇
第二十二年	一、七八一、五五〇、〇〇〇	一、一四三、〇〇〇、〇〇〇	一〇、五一二、〇〇〇、〇〇〇	三四、四八八、〇〇〇、〇〇〇
第二十四年	一、七二四、四〇〇、〇〇〇	一、一九七、〇〇〇、〇〇〇	一一、七〇九、〇〇〇、〇〇〇	三三、二九一、〇〇〇、〇〇〇
第二十五年	一、六六四、五五〇、〇〇〇	一、二六〇、〇〇〇、〇〇〇	一二、九六九、〇〇〇、〇〇〇	三二、〇三一、〇〇〇、〇〇〇
第二十六年	一、六〇一、五五〇、〇〇〇	一、三二三、〇〇〇、〇〇〇	一四、二九二、〇〇〇、〇〇〇	三〇、七〇八、〇〇〇、〇〇〇
第二十七年	一、五三五、四〇〇、〇〇〇	一、三八六、〇〇〇、〇〇〇	一五、六七八、〇〇〇、〇〇〇	二九、三二二、〇〇〇、〇〇〇
第二十八年	一、四六六、一〇〇、〇〇〇	一、四五八、〇〇〇、〇〇〇	一七、一三六、〇〇〇、〇〇〇	二七、八六四、〇〇〇、〇〇〇
第二十九年	一、三九三、二〇〇、〇〇〇	一、五三〇、〇〇〇、〇〇〇	一八、六六六、〇〇〇、〇〇〇	二六、三三四、〇〇〇、〇〇〇
第三十年	一、三一六、七〇〇、〇〇〇	一、六〇二、〇〇〇、〇〇〇	二〇、二六八、〇〇〇、〇〇〇	二四、七三二、〇〇〇、〇〇〇
第三十一年	一、一五二、四五〇、〇〇〇	一、六七三、〇〇〇、〇〇〇	二一、九五二、〇〇〇、〇〇〇	二三、〇四九、〇〇〇、〇〇〇
第三十二年	一、〇六三、八〇〇、〇〇〇	一、八六三、〇〇〇、〇〇〇	二二、五八七、〇〇〇、〇〇〇	二一、二七六、〇〇〇、〇〇〇
第三十三年	九七〇、六五〇、〇〇〇	一、九五三、〇〇〇、〇〇〇	二七、五四〇、〇〇〇、〇〇〇	一九、四一三、〇〇〇、〇〇〇
第三十四年	八七三、〇〇〇、〇〇〇	二、〇五二、〇〇〇、〇〇〇	二九、五九二、〇〇〇、〇〇〇	一七、四〇八、〇〇〇、〇〇〇
第三十五年	七七〇、四〇〇、〇〇〇	二、一六〇、〇〇〇、〇〇〇	三一、七五二、〇〇〇、〇〇〇	一五、四〇八、〇〇〇、〇〇〇
第三十六年	六六二、四〇〇、〇〇〇	二、三八五、〇〇〇、〇〇〇	三四、一三七、〇〇〇、〇〇〇	一三、二四八、〇〇〇、〇〇〇
第三十七年	五四三、一五〇、〇〇〇	二、五二〇、〇〇〇、〇〇〇	三六、六五七、〇〇〇、〇〇〇	一〇、八六三、〇〇〇、〇〇〇
第三十八年	四一七、一五〇、〇〇〇	二、七〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三九、三五七、〇〇〇、〇〇〇	八、三四三、〇〇〇、〇〇〇
第三十九年	二八二、一五〇、〇〇〇	二、七九〇、〇〇〇、〇〇〇	四二、一四七、〇〇〇、〇〇〇	五、六四三、〇〇〇、〇〇〇
第四十年	一四二、六五〇、〇〇〇	二、八五三、〇〇〇、〇〇〇	四五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、八五三、〇〇〇、〇〇〇

規定ノ有無問合ノ件

第一一六六号

貴電第一一九八号ニ関シ

滿鉄当地支社ノ内報ニ依レハ九月十七日貴地ニ於テ滿鉄代

四八九 九月二十二日

内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛 (電報)

今回調印ノ四洮鐵道借款契約二百五十万円前貸

六 四洮鐵道關係一件 四八九

六 四洮鐵道關係一件 四九〇 四九一

表者ト支那側トノ間ニ四洮鐵道借款契約調印セラレタル趣
ノ趣同借款ニ付テハ支那側ニテハ例ノ籌備費ノ外五百万円
ノ前貸ヲ申出テタル趣予而内聞シ居リタルカ今回前額ノ通
リ其ノ調印ヲ見ルニ至リタルニ付テハ同借款契約中右前貸
ニ関スル規定ノ有無並若シスル規定アリトセハ其ノ内容並
ニ該規定ニ対スル貴見承認致度ニ付何分之義回電アリタシ

四九〇 九月二十六日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

四洮鐵道借款契約ニ五百万円前貸ノ取極ノ有

無問合ニ対シ回報ノ件

第一二九二号

(九月二十七日接受)

貴電第一一六六号ハ往電第一二七五号ト行違タルヤニ存ゼ
ラレタル趣今回ノ契約及往復文書ハ全然去六月成案ノ通ニ
テ契約中御来示ノ如キ前渡ニ関スル取極ナシ尤モ往復文書
(四)ニ依リ六箇月間四洮鐵道ニ要スル一切ノ費用及四鄭
鐵道短期借款正金ヘ還付ニ必要ナル費用ノ兩者ニ対スル所
謂相当額ヲ滿鉄ヨリ支那側ニ交付スル事トナリ居レリ大連
川上ヘ為念電報ニテ確メタルガ右金額ハ未ダ交付セザルモ

モ待チキレサル故不取敢右金額ヲ引当ニ正金ヨリ夫レ迄ノ
短期融通ヲ得タキ旨支那側ヨリ申出アリタル趣ヲ以テ調印
間際ニ至リ川上ヨリ申出アリ武内ハ本店ト往復ノ結果前記
(二)ハ之ヲ拒絶シ(一)ハ其ノ儘トナリ居ル趣ナリ右等ノ経緯ハ
滿鉄ヨリハ報告セサルヤモ計リ難キニ付御含迄ニ電報ス尤
モ武内ヨリ当館ヘ内報シタルコト滿鉄ヘ聞ユルトキハ同人
迷惑トナルヤモ計リ難キニ付其辺御注意アリタシ

四九二

九月二十六日 在上海山崎総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日本ガ北京政府ニ対シ借款ヲ与ヘタル事実無

キ旨在北京小幡公使ヨリ在上海山崎総領事宛

電報ノ件

第三八七号

(九月二十七日接受)

在支公使發本官宛第四二三号(極秘)

大臣宛貴電第三八五号ニ関シ御来示ノ如ク日本ヨリノ借款
云々ノ事実ナシ但シ四鄭鐵道洮南迄延長ノ為メノ借款過日
滿鉄ト交通部トノ間ニ調印丈ヲ了シタルハ事実ナルモ右ハ
当分極秘トノ打合アリ金ハ未ダ交付シアラズ然ルニ支那側

六 四洮鐵道關係一件 四九二 四九三

五二〇

十月五日頃前渡ノ内約アル趣ナリ尤モ其ノ前政府ノ承認ヲ
求ムル旨ナル由曾交通總長代理ト安福俱樂部トノ關係上王
揖唐ガ南方ニ携帯セルハ滿鉄ヨリ交付セルモノナリト噂ス
ルモノアリ貴方ヘモ伝ハリ居ルベキカト存ゼラルルニ付為
念申添フ

奉天經由 大正八年九月二十七日前〇・五〇

註 四洮鐵道借款契約附屬往復文書(四)ニ就テハ前出六月二日野
村滿鉄社長ヨリ内田外務高橋大藏両大臣宛申請書ノ附屬書
参照

四九一 九月二十六日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

四洮鐵道借款契約附屬往復文書(四)ニ依リ滿鉄

ヨリ立替交付スベキ金員ニ付中国側ヨリ申出

アリタル件

第一二九四号

(九月二十七日接受)

往電第一二九二号ニ関シ

正金武内ノ内話ニ依レハ支那側財政逼迫ノ結果(一)正金ヘノ
還付金額(利子ヲ合セ約三百万円)ハ滿鉄ヨリ受取ルモ直
ニ還付セサルコトノ承諾ヲ得タキ旨及(二)滿鉄ヨリ受取ル迄

ニハ該借款前渡数万円交付済ニテ曾交通總代理ガ安福系
ノ有力者タル關係上王揖唐是ヲ携帯南下セリトノ説伝ハリ
居ルヤノ趣ニ付王揖唐反對者側ハ是等ヲ利用シ兎ヤ角言ヒ
居ル次第ナランカト思ハル右借款成立自体モ極秘ノコトト
ナリ居ルニ付全然貴官限御含迄電報ス(二十六日十時)
外務大臣ヘ転電アリタシ

註 在上海山崎総領事九月二十六日發内田外務大臣宛第三八五
号ニ付テハ前掲一二二文書参照

四九三

九月三十日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

滿鉄ハ四洮鐵道借款契約附屬文書(四)ニ依リ中

国側ヘ立替交付ノ手配中ナル旨報告ノ件

第一三〇一号

(十月一日接受)

貴電第一一八七号ニ関シ

貴電第一一六六号ニ対シテハ九月二十六日往電第一二九二
号ヲ以テ返電済ナルガ九月三十日滿鉄本社ヨリ当地牛島ニ
対シ正金ヲ通ジ往電第一二九二号所載ノ金額支那側ヘ交付
方電訓シ来リタル趣ニテ金額交付方手配中ナリ尤モ正金ヨ
リハ往電第一二九四号等ノ關係モアリ本店ヘ電報シ指図ヲ

五二一

求メ居ル趣ナリ

註 内田外務大臣九月二十八日発第一一八七号ハ前出大臣発電
第一一六六号ニ対スル回電ヲ督促ノ電報ナリ

四九四 十月一日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛 (電報)

四洮鉄道借款ニ伴フ籌備費及五百万円前貸交

付ノ時期ニ付問合ノ件

第一一九八号

貴官発上海宛第四二三号ニ関シ

四洮鉄道借款ニ伴フ例ノ籌備費ハ往電第五二二一号ニテ御承
知ノ通り同借款成立スルトモ南北妥協成立後ニアラサレ
ハ支那側ニ交付スヘカラザル管ナル処右籌備費ノ件ハ實際
如何相成居レルヤ又往電第一一六六号五百万円前貸一件ニ
付何等取極アリトセハ其ノ交付期日殊ニ南北妥協成立トノ
関係ニ付テハ如何相成居レルヤ本件ハ發展如何ニヨリ重大
ナル悪結果ヲ生スル虞アルニ付其ノ辺御確ノ上至急回電ア
リタシ

四九五 十月一日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

如キモ前渡金ヲ全然停止スルニ於テハ日中関

係ニ重大ナル悪影響アルベキ旨稟申ノ件

第一三一一号 (至急) (十月三日接受)

貴電第一一九八号後段ニ関シ

前渡金ニ関シテハ往電第一二九二号第一二九四号及第一三
〇一号等ニテ御了悉ノコトト思考スル処最近川上ヘ確メタ
ル処該金額 (附属往復文書四所載ノ二口合計ノ相当額ナル
モノニ当リ實際ハ五百万円ナル趣ナリ) ハ十月五日頃迄ニ
交付ノ内約ヲ為シアルモ交付前政府ノ承認ヲ求ムル管ナリ
トノコトナリシガ (往電第一二九二号参照) 九月三十日ニ
至リ往電第一三〇一号ノ如キ満鉄本社ヨリ牛島ヘ前記金額
交付ノ電訓アリタルニ付本使ハ不取敢貴方ヘ電報スルト同
時ニ牛島ヲシテ川上ヘ右ハ確ニ政府ノ承認アリタル次第ナ
ルヤ電報ニテ問合サシメタル処十月一日在東京総裁ヨリノ
来電ニ右前渡交付差支ナキ旨記載シアルニ付政府ノ承認ア
リタルモノト推測ストノ趣旨ノ返電アリタル趣ニテ聊カ明
瞭ヲ欠キタルニ付更ニ内往電第一三〇七号ノ通伺出テ一面
牛島ヲシテ交付ヲ差控ヘシメ居ル次第ナリ貴電第一一九八
号ニ依レハ本件金額交付ハ未ダ政府ノ承認ヲ得タルモノニ

四洮鉄道借款契約附属文書(四)ニ依リ満鉄ヨリ
中国側ニ現金給付セシメ差支無キヤ請訓ノ件

第一三〇七号 (至急) (十月二日接受)

往電第一三〇一号ニ関シ

満鉄ヨリ支那側ヘ現金給付方取計ハシメ差支ナキヤ折返至
急返電アリタシ

四九六 十月二日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛 (電報)

四洮鉄道前貸金交付問題ニ付目下詮議中ニ付

現金交付差控方回訓ノ件

第一一九九号 (至急)

貴電第一三〇七号ニ関シ

四洮鉄道前貸金交付問題ニ付テハ目下詮議中ノ次第アルニ
付追テ何分ノ義申進スル迄ハ現金交付差控ヘシメ置カレ度
シ

四九七 十月二日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

四洮鉄道借款前渡金ニ付満鉄ニ誤解アリタル

アラサルヤニモ見受ケラレ果シテ然ラバ右ニ関シ政府ト満
鉄若ハ満鉄東京支社ト川上トノ間ニ何等カノ誤解アリト思
料ス

而シテ川上ノ立場ハ要スルニ借款契約ノ調印及附属文書ノ
交換ガ政府ノ承認ヲ經タル以上右文書ノ一ニ記載シアル本
件前渡ヲ実行スルハ妨ナシトノ考ヨリ右前渡ヲ内約スルニ
至リタルモノト認メラレ而シテ一方ヨリ云ヘハ今回本件借
款調印交渉促進ヲ見タルハ一ハ支那側ニ於テ右内約五百万
円前渡ニ誘ハレ切出シ来レルニ依ルモノト察セラル右ノ如
ク本件ハ主トシテ満鉄側殊ニ川上ニ於テ誤解若ハ多少ノ手
落アリテ玆ニ至リタルモノト認メラレ貴電御来示ノ通南北
妥協成立トノ関係ニ於テ政府ノ御方針ニ反スル結果トナリ
遺憾千万ナルモ他方假令誤解又ハ手落ニ基クトハ云ヘ満鉄
ノ支那側ニ対スル信用及立場モ顧慮スルノ必要アリ今ニ至
リ前渡金ヲ全然停止セシムルカ如キ場合ニハ其ノ結果四洮
鉄道借款契約自体ノ効力ニ累ヲ及ホスト同時ニ満鉄ハ勿論
延テハ日本ノ支那側当局者ニ対スル大ナル不信トナリ只サ
ヘ容易ナラサル吉会鉄道問題ヲ初トシ今後対交通部鉄道関
係交渉問題ニ甚大ノ影響ヲ及ホスニ至ランコトヲ深ク恐ル

六 四洮鐵道關係一件 四九八 四九九

ルニ付嚴重ニ支那當局ノ責任ヲ以テ本件ノ成行ヲ外間ニ洩
ラシメサル様十分御手配ノ上約束ヲ履行スルノ外ナカルヘ
シト信ス至急何分ノ御決定ヲ請フ

尚貴電第一一九八号前段ニ関シテハ川上ヨリノ来電ニ依レ
バ籌備費ハ南北妥協成立後政府ノ承認ヲ經テ交付ノ事ニ支
那側ト協定シアルモノト察セララルモ聊カ疑問ノ点アリ牛
島ヨリ電報ニテ川上ニ確メ置ケリ

四九八 十月三日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国財政上ノ苦境ヲ救フ為四洮鐵道借款前貸
ヲ十月八日迄ニ交付アリタキ旨大總統曹汝霖
ヲ派シ申出アリタル件

第一三一九号(至急) (十月四日接受)

十月三日曹汝霖大總統ノ内使トシテ本使ヲ来訪セリトテ四
洮鐵道借款前貸ヲ突然差止メラレタルニ對シ大總統ハ非常
ニ憂慮シ自分ニ命ジ本使ヲ親シク来訪シ万一右前貸ガ中秋
節即チ十月八日迄ニ交付セラレザルニ於テハ支那政府ハ非
常ナル苦境ニ陥リ中秋節ノ難關切抜ケノ予定計畫ヲ全然破
壞スルコトトナリ甚シキ手違ヲ来タシ頗ル困難スル由ニ付

五二四

大總統ノ苦衷ト財政ノ難局ニ同情セラレ是非節季前ニ引渡
シヲ了セラレタキ旨懇願スル様内囑セラレタリトテ縷々陳
述スル所アリ結局本使限ニテ取計兼ヌル場合ニハ至急閣下
ニ打電シ右大總統ノ希望ヲ達スル様尽力方願出タルニ付至
急御詮議ノ結果回電ヲ請フ中秋節ヲ控ヘ財政上此ノ手違ヲ
生ジタル為メ支那政府ハ目下余程苦境ニ陥リ居ル模様ナル
ニ付テハ此ノ際我方ニ於テ余リ先方ノ苦衷ヲ顧ミザルガ如
キ仕打ニ出ヅルコトハ将来ノ我立場ニ少ナカラザル累ヲ及
ボスモノト考フ何トカ先方ノ希望ヲ達スル様至急御詮議ヲ
祈ル

四九九 十月四日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

四洮鐵道借款前貸金交付ハ尚詮議中ナルニ付
差控ヘシムル様措置方訓令ノ件

第一二〇一号(至急)

貴電第一三一一号及第一三一九号ニ関シ

四洮鐵道借款前貸交付方ノ件ハ種々重要ノ關係ヲ有スルヲ
以テ本件詮議ハ尚多少ノ時日ヲ要スル見込ニ付追テ何分ノ

義申進スル迄本件前貸ヲ交付セシメサル様御措置相成度シ
尚本省ヨリ十月四日滿鉄社長ニ對シ右ノ趣旨ニテ内達シ置
ケリ

五〇〇 十月四日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

李財政總長代理ヨリ在北京正金武内ニ對シ大
連滿鉄勘定ヨリ五百万円ヲ東京ニ廻金方懇請
アリタルニ付請訓ノ件

第一三二六号(至急) (十月五日接受)

貴電第一一九九号ニ関シ

廣四鄭局長李財政總長代理ノ使トシテ十月四日武内ヲ来訪
シ交通銀行在東京代表者宛日本向期限(脱?)手形金五百
万円ヲ支那銀行ヘ売出シ金策ヲナシタルニ付右手形基金ト
シテ大連ニアル滿鉄勘定ノ本件基金ヲ東京ニ廻金アリタキ
旨懇請シタル趣ニテ武内ハ大連ニ電報往復中ナリ要スルニ
財政部ハ本件五百万円ノ交付ハ我が政府ヨリ許可アルトス
ルモ手間取ルトシテ斯ル窮策ニ出デタルモノニテ二百五十
万弗ハ兎ニ角一先支那政府ノ手ニ入りタル次第ナリ就テハ

六 四洮鐵道關係一件 五〇〇 五〇一 五〇二

財政部申出ノ通正金ヲシテ貴地ニ送金セシメ差支ナキヤ滿
鉄ヨリ五百万円交付可否ノ問題ト離レ何分ノ義御決定ノ上
結果電報アリタシ

五〇一 十月四日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

四洮鐵道借款ノ籌備費未交付ノ旨報告ノ件

第一三二七号

(十月五日接受)

貴電第一一九八号前段ニ関シ

大連川上ヨリノ返電ニ依レバ籌備費ハ未ダ交付シ居ラザル
趣ナリ

五〇二 十月九日 芳沢政務局長ヨリ
野村滿鉄社長宛

四洮鐵道借款前貸ニ関スル詳細ノ願末書外務
大臣ヘ提出方指示ノ件

拝啓陳者今般貴社代表者ト支那當局トノ間ニ締結相成候四
洮鐵道借款契約ニ附随セル五百万円前貸ノ件ハ曩ニ政府ニ
於テ内外ニ宣明セル對支借款方針ニ悖リ政府ニ於テ承認難
致所ニ有之候ニ付テハ本件前貸ニ関スル詳細ノ願末書當省

五二五

大臣宛御提出相成度右依命申進候 敬具

五〇三 十月九日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛 (電報)

四洮鉄道借款前貸問題ニ関スル詳細ナル願末
書提出方満鉄ニ申渡シタル旨通報ノ件

第一二二五号 (至急)

貴電第一三二六号ニ関シ

曩ニ四洮鉄道借款契約成立シタル旨ノ報道ニ接シタル当時
該借款ニハ前貸金付随シ居レル趣聞込ミタルニ付右ハ帝国
政府ノ借款方針ニ顧ミ重大ノ関係アリト思考シタルニ付不
取敢往電第一一六六号及第一一九八号ノ通り右前貸ニ関ス
ル規定ノ内容及之ニ対スル貴見殊ニ其ノ交付時期等ニ付問
合セニ及ヒタル次第ノ処右往電第一一九八号ト行違ヒタル
貴電第一二九二号ニ依レハ十月五日頃ニハ前貸金交付ノ
内約アル趣ナリシヲ以テ旁々往電第一一九九号及一二〇一
号ヲ以テ暫ク本件前貸ヲ交付セシメサル様取計ハレ度旨申
進シタルニ右往電第一二〇一号ト行違ヒタル貴電第一三二
六号ニ依レハ支那政府ハ已ニ五百万円手形ヲ支那銀行ニ売

(註) 一三二九号路透通信員所言ノ噂ヲ確認スルモノトモ認メラ
レ居ルモノノ如ク現ニ九日徳川ヲ来訪セル「リツジ」ノ如
キモ此ノ点ヲ質問シタルニ付徳川ハ前記往電「ワーン」ニ

対スルト同様ノ答ヲナシ置キタル趣ニテ尚コハ中秋以前ナ
ルモ露亜銀行支配人モ五日山内ニ対シ「ワーン」ト同様ナ
ル質問ヲ為シタル趣ナルガ往電第一三二六号ノ通り五百万
円ハ兎ニ角一応支那政府ノ手ニ入り居ル次第ニテ此ノ点ヨ
リ云ヘバ右觀察ハ至極尤トモ云フベク而シテ支那側ガ一面
本使ニ嘆願シナガラ他方本使ニ断リ無ク右往電ノ如ク交通
銀行ニ東京向為替ヲ売リテ融通ヲ得タルガ如キハ窮余ノ策
トハ云ヒナガラ甚ダ不都合ノ仕打ト云フノ外無ク旁以テ前
記ノ如ク外人側ノ注目大分我ニ向ヒ居ルガ如キ此際五百
万円交附ハ往電第一三二一一号電稟ノ通結局止ムヲ得ズトス
ルモ其ノ方法時期等ニ就テハ更ニ頗ル考慮ヲ要スルモノ有
リト認メラル御参考迄

註 前掲一七〇文書

五〇五 十月九日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

田中陸軍大臣ガ坂西少将ヲ通ジ四洮鉄道前渡

付ケ資金ヲ調達シタル趣ナルカ以上ノ成行ニテ明白ナルカ
如ク本件前貸ニ関スル支那当局及満鉄側ノ措置振ハ曩ニ内
外ニ宣明セル帝国政府ノ対支借款方針ニ明ニ悖レルモノニ
テ帝国政府ニ於テ承認シ得ベキモノニアラザルヲ以テ本件
前貸問題ニ関スル詳細ノ願末書提出方満鉄ニ申渡シ置キタ
ルニ付右提出ヲ俟テ今後ノ措置振決定ノ答ナリ
右貴官御含迄

五〇四 十月九日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

北京政府ノ中秋節乗越工資金ノ出所ニ関スル
外間ノ疑惑ニ鑑ミ四洮鉄道借款前貸交付ノ時
期方法ハ考慮ヲ要スベキ旨稟申ノ件

第一三三九号 至急

(十月十一日接受)

十月八日ノ中秋節季ハ財政窮乏ノ為政府ハ如何ニ之ヲ経過
スヘキカト普ク注視セラレ居リタルコトト信スル処實際ニ
於テハ一般ニ静穏ナリシノミナラス市中ノ景氣モ可ナリ引
立チ居リタル等ノ為外人側等ニ於テハ何レヨリカ内密融
通ノ途付キタルニアラスヤトノ念ヲ深ウシ一方右ハ往電第

五百万円ヲ中国政府ニ給付ヲ約束セルハ外交

機關ヲ無視スルモノトノ意見稟申ノ件

第一三四〇号 (至急) 極秘

(十月十日接受)

本使ノ確聞スル処ニ依レバ田中陸軍大臣ハ坂西少将ニ対シ
四洮鉄道前渡五百万円ハ帝国政府ニ於テ或特別ノ方法ニ依
リ支那政府ニ給付スルコトニ取計フベキニ付安心スル様曹
汝霖ニ申伝フベシトノ趣旨電訓セラレタル趣ナリ右電訓ハ
過日曹汝霖ヨリ坂西ニ対シ本件好意的考量方ヲ求メタルヨ
リ坂西ニ於テ之ヲ陸軍大臣ニ取次ギタル結果ニシテ右ハ曹
ノ申出ニ対スル返答ニ相違ナク且御詮議ノ結果大体右ノ方
針ニ内定セラレ居ルヤハ存ゼザルモ何レニセヨ陸軍大臣ノ
以上ノ措置ハ本使ノ本件ニ関スル目下ノ立場上一般財政援
助ニ関スル同大臣過日ノ措置ヨリモ一層更ニ外交機關ノ存
在機能ヲ無視セルモノニシテ支那当局者ヲシテ愈々以テ帝
国代表者ノ倚ル可カラザルヲ思ハシムルニ至ルノ因ヲ作ル
モノト謂フ可ク帰スル処帝国ノ威信ニ関ハルコト頗ル大ナ
ルモノアルヘキハ本使ノ喋々ヲ須ヒサル所ニ有之陸軍大臣
ガ昨年末本使東京出發赴任前送別ノ午餐會ヲ催シ當時帰朝
中ノ坂西少将ヲモ列席セシメ食事ノ席上將來外交問題ニ関

シテハ陸軍機關ヲシテ外交機關ニ無斷ニ何等ノ行動ヲモ敢テセシメサル旨ヲ特ニ公言セラレ當時ノ列席者ハ何レモ之ヲ承知シ居ル筈ナルニ拘ラス今日陸軍大臣ガ當時ノ口約ヲ無視シ純粹ナル外交問題ニ立入り常ニ其ノ私設機關ヲ通シ帝國政府ノ内意ヲ先走り密ニ支那側ニ内通シ専ラ支那有力者ニ私恩ヲ売ラントスルカ如キ行動ヲ敢テセラルハ當時ノ言責ト大ニ矛盾スル所アルノミナラス万一斯クノ如キ不規則ナル行動ヲ默過スルニ於テハ以上所述ノ如ク引イテ帝国外交ノ威信ニ対シ又々外間ヲシテ種々ノ物議ヲ試ミシムルノ端ヲ開クベク本使ハ帝國政府外交ノ為深ク之ヲ遺憾トスルハ勿論自然本使ハ自己ノ職責上進退ヲ考慮セザルヲ得ザルニ至ルナキヲ保シ難ク旁々本件ノ真相並陸軍大臣ガ其ノ權限ヲ踰越スルガ如キ行動ニ対スル政府ノ御意見一応承知シ置度シ折返シ電報ヲ請フ(九日)

註 前掲一四八及一五六文書等参照

五〇六 十月十五日 内田外務大臣ヨリ 在中国小幡公使宛(電報)

三菱造船会社ノ中国政府ニ対スル五百万弗借

款説ノ真相調査方訓令ノ件

位ノ処ナラン

五〇八 十月十六日 野村滿鐵社長ヨリ 内田外務大臣宛

四洮鐵道借款五百万円前貸ニ関シ願末報告ノ

件

附屬書 同日附川上滿鐵理事ヨリ野村滿鐵社長宛報告書

四洮鐵道契約調印ニ関スル願末報告ノ件

東庶第三九九号

大正八年十月九日附ヲ以テ芳沢政務局長殿ヨリ四洮鐵道借款契約ニ附隨セル五百万円前貸ノ件ニ関シ願末詳細拝申スヘキ旨御示命相蒙リ敬承仕候元來四鄭鐵道ノ延長ハ舊ニ支那ニ取リテ焦眉ノ急アルノミナラス我カ滿洲線ノ為ニモ一日ヲ緩クスヘカラサル當養線ニ付其完成ヲ切実希望罷在候ハ申迄モ無之候処契約案及ヒ往復文書案ハ悉皆已ニ雙方委員ノ間ニ議シ確定シ各本國政府ノ承認ヲ經候ニモ拘ラス支那側ニ在リテハ目前短期借款返済ノ期相迫リ居候上至急著手ヲ要スル橋梁及ヒ線路ノ修築乃至車輛製作等ノ為ニ巨額ノ資金ヲ必要トスル事情モ有之旁々往復文書中前渡金ノ意義ヲ特ニ寛宏ニ解釈シ其時期ヲ早メテ契約調印ノ際交付ヲ

第一二二六号

貴地國際通信社發新聞電報ニ依レハ支那政府ハ三菱造船会社トノ間ニ五百万弗ノ借款契約ヲ結ヒ中秋節ニ支払ヲ受ケタリトノ趣ニ付三菱ニ確メタル処往電第四三九号海軍部借款談ノ引続トシテ最近同部ヨリ三菱ニ借款申出アリタルモ担保不十分ナリシ為メ成立ニ至ラサリシコトアリ恐ラク右ノ誤伝ナルヘシトノ回答アリタルカ或ハ例ノ四洮鐵道前貸手形支払トハ何等關係ナキヤ可然取調ヘラレ結果回電アリタシ

五〇七 十月十六日 在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

三菱造船ノ中国政府ニ対スル借款ノ報道ハ事

實無根ナル旨報告ノ件

第一三六一号

貴電第一二二六号ニ関シ

右報道ハ全然無根ニテ三菱ヨリハ一文モ融通シタル事實ナシ路透ヘハ十月十四日取消方申入置キタリ四洮鐵道關係五百万円入金ノ事實ヲ支那側ヨリ人伝ニ誤聞シ其儘電報シタル

受ケ度趣數次申出候得共当方ニテハ先ツ以テ調印ヲ促シ予メ彼ノ希望ニ応スルコトヲ拒ミ單ニ調印成ルノ上ハ前渡金ニ付相當考慮スヘキ旨ヲ相告ケ候ニ止リ候為メ調印ハ自然停頓ノ姿ニ相移リ居候処近者支那側ニテハ仲秋節季ニ臨ミ愈々資金ノ匱乏ニ相苦ミ候ヨリ俄ニ調印ノ事申出候ニ付敝社ハ調印ヲ以テ最先ノ手續キト相信シ直ニ代表者ヲ北京ニ派シ候次第ニ候処彼ハ果シテ前渡金ヲ以テ調印ノ交換条件タラシメント致候ニ付敝社代表ハ飽クマテ其不當ヲ説破シ調印ヲ迫リ候モノノ若シ絶對ニ彼ノ要望ヲ斥ケ候トキハ当面調印ノ成ラサルハ勿論、朝夕變転測ルヘカラサル支那政局ノ近情ニ顧ミ折角苦心成案ヲ得タル契約其モノヲ擧ゲテ一片故紙タラシムルヤモ難計延テハ滿蒙ニ対スル我カ国策ノ遂行ヲ遅カラシムルノ虞アルヲ憂慮致候儘好機一タヒ去ラハ再ヒ捉ヘ易カラスト存シ調印後ノ対策ニ付テハ更ニ適當ノ舉措ニ出ツヘク決心仕候上乃チ彼我多少了解ノ下ニ調印致サセ候次第ニ御座候然レトモ敝社ノ措置ニシテ政府ノ御方針ニ悖戻候様ノコト有之候テハ殊ニ恐縮ニ不堪候ニ付敝社トシテハ支那側ニ対シ多少ノ不面目ハ辭シ難ク候得トモ追テ適當ノ時期ニ達スル迄前渡金交付ヲ相延ハシ候コト

ハ今日ノ場合止ムヲ得サル所ト存候

右御垂問ニ對シ顛末ノ梗概拝申致候也

大正八年十月十六日

南滿洲鐵道株式會社

社長工學博士 野村電太郎（印）

外務大臣子爵 内田康哉殿

追テ本件ニ関シ川上理事ヨリ差出候顛末書別紙写一通御

参考ニ奉供候

（欄外註記）

「十月十八日川上理事持参」

（附屬書）

十月十六日附川上滿鐵理事ヨリ野村滿鐵社長宛報告書寫

四洮鐵道契約調印ニ関スル顛末報告書

小職儀本年九月中貴命ニ相從ヒ四洮鐵道契約ノ件ニ関シ天津及ヒ北京ニ出張罷在支那當局者ト数次交渉相重ネ候末先方モ遂ニ調印ノ決心ヲ執ルニ至リ候得共之ト同時ニ該契約附屬往復文書中ニ規定シ有之候通り正金銀行ニ對スル短期借款元利償還ニ要スル等三百万円前渡金ノ外同往復文書中ニ記載ノ他ノ鐵道費トシテ更ニ金二百万円ノ前渡ヲモ併

セ交付シ呉ルル様懇請シテ止マス候ニ付小職ハ其ノ金額ノ過多ナルヲ説キテ之ヲ拒絕致シ單ニ先方ノ約束不履行ヲ咎メ調印ノ一日モ忽諸ニ付スヘカラサル理由ヲ反覆主張致候次第ニ御座候

然ル処當時支那政府ノ財政狀態ハ時恰モ窮乏ノ極ニ達シ殆ト名狀スヘカラサル窮境ニ居リ右前渡金ノ交付ヲ受クルニアラサレハ到底調印ヲ肯セサル模様相見エ候ノミナラス北京ノ政情刻々險惡ニ傾キ朝夕變転實ニ測知スヘカラサルモノ有之若シ右前渡金ノ交付時期等ニ関シ更ニ政府及ヒ貴職ニ對シ具狀経伺ノ手續ヲ尽シ居候トキハ之カ為ニ時日遷延ノ免レ難キハ勿論或ハ此ノ好機ヲ逸シ去ラハ近キ将来ニ於テ再ヒ調印致サセ候見込モ相立兼候ト思考候儘從來ノ方針ノ下ニ自己ノ決意ヲ堅クシ此ノ場合最モ適當ノ举措ニ出ツルノ必要ト利益トヲ認メ乃チ同月十六日其ノ趣ヲ貴職ニ電稟スルト同時ニ小幡公使ニ謁シテ交渉ノ經過及ヒ前記ノ懇請ヲ容ルルノ万止ムヲ得サル事情ヲ内聞ニ達シ置キ翌十七日急遽調印ヲ相了リ候コトニ有之候

右調印相了リ候ト同時ニ小職ハ交通総長代理ニ對シ契約調印成立致候ニ就テハ會社ハ右契約附屬往復文書中ニ記載セ

上文ノ如ク前渡金ノ件ニ関シ候テハ更ニ政府トノ間ニ意思ノ疏通ヲ図ルヘキ趣小幡公使ヨリ注意相受ケ候処會社トシテハ前渡金ノ必要ヲ相認メ候ハ主トシテ左ノ理由ニ存シ候

一、予メ政府ノ承認ヲ経タル契約ノ調印ヲ了リタル以上右附屬往復文書中ニ規定シタル正金銀行ノ短期借款元

利償還資金等約三百万円ハ其ノ償還期限タル本年十一月十八日マテニハ是非トモ交付セサルヘカラサルコト

二、右ノ外四洮鐵道起工準備金トシテ多少ノ前渡ヲ為スコト是レ亦止ムヲ得サルモノト認メラル其ノ金額及ヒ期日ハ未定ナルモ鐵道敷設ノ急ヲ要スルヲ以テ成ルヘク速ニ之ヲ交付シ線路ノ実測丈ケニテモ完了セシメ置クノ必要アルコト

三、猶契約ニ定メタル四千五百万円ノ借款金額中ニハ現四鄭線ノ橋梁費及ヒ車輛費ノ補足ヲモ予想シアリ而シテ右橋梁及ヒ車輛ノ完成ハ成ルヘク速ニ之ヲ實現セシムルノ必要アルハ勿論ナリ又公債募集遅延シタル場合ニハ止ムヲ得ス會社ヨリ一時立換ノ急需ナシトセス其ノ金額約百五十万円ニ達スヘキコト

四、前記三項ノ金員ハ純然タル鐵道費ナルヲ以テ政府ハ

ル鐵道費ノ前渡ヲ一括シ金五百万円ヲ限度トシ本年十月五日マテニ大連本社ニ於テ同往復文書ノ条件ニ依リ之ヲ支那政府ニ交付スル様考慮スヘキコトヲ承諾致候旨通告シタル上直ニ北京ヲ辭シ一応天津ニ引取り続テ去月二十日同地出

発歸社致候儀ニ御座候

小職北京離退後ノ支那政府ノ財政狀態ハ倍々窮困ニ陥リ候為メ會社ノ前渡金交付期限ニ前チ諸多ノ經費支出ノ必要ニ苦ミ候ヨリ右ヲ引当トシテ正金銀行ニ向ヒ一時融通ヲ受ケント商議ヲ試ミ候モ直ニ拒絕ニ會ヒ候結果更ニ會社ニ對シテ期限前受領シ度キニ付特ニ右様取計ヒ呉ルル様切願シ来リ事情如何ニモ氣ノ毒ニ存候ニ付直ニ此ノ趣ヲ貴職ニ電請致置候処同二十七日ニ至リ直ニ交付スルモ差支ナキ旨ノ回電接受致候故大連本社ニ於テハ支那側ヨリ請求次第交付スヘキ準備致居候モ右受領ノ為メ來連致候虞委員ハ適法ノ受領証書ヲ携帶致ササリシ結果授受遷延ノ折柄突如トシテ小幡公使ヨリ本件ニ関シテハ政府トノ間未タ意思疏通シ居ラサルモノアレハ前渡金ハ政府ヨリ何分ノ指図アルマテ交付ヲ見合スヘシトノ電知ニ接シ候為メ前渡金交付ハ差控ヘ以來往再今日ニ相及ヒ居候次第ニ御座候

主義上之カ貸与ヲ容サルヘク而シテ其ノ貸与金額時期
及ヒ方法ニ付テハ万遺計ナキヲ期スヘキニ由リ会社ノ
任意裁量ニ委ネラルヘキヲ信シタルコト

然ル処前渡金ノ件ハ契約ノ条項ニ依リ政府ニ於テ主義上ヨ
リ之ヲ承認セラルヘキコトト致候モ其ノ金額及ヒ交付時期
ニ付テハ更メテ政府ノ承認ヲ経ヘキコトモ相心得居候得共
何分交渉当時ニ於ケル支那政局ノ実情ハ上文略述致候如ク
ニ有之種々ノ關係上ヨリ急速調印決行セサルトキハ年来ノ
辛苦修チ水泡ニ帰セシムルヤモ計リ難キ形勢ニテ延テハ滿
蒙ニ対スル我カ国策ノ進行ヲ遅カラシムルノ虞アラシコト
ヲ憂慮致候余小職ハ最後経伺ノ手續ヲ執ルニ暇ナク一応小
幡公使ニ事情ヲ申述候上支那政府ニ対シテ前渡金交付ノコ
トハ調印後考慮スヘキ旨相約シタル次第ニ御座候小職越權
ノ咎ハ甘受致候処ニ有之候爰ニ貴命ヲ恪ミ交渉ノ顛末相認
メ供高覽候也

大正八年十月十六日

理事 川上俊彦

南滿洲鉄道株式会社

社長工学博士 野村竜太郎殿

五〇九 十月二十一日 内田外務大臣ヨリ
在中國小幡公使宛 (電報)

坂西少将四洮鉄道前貸金問題介入ニ関シ田中

陸軍大臣今後斯カルコトヲ為サシメザル旨言

明ノ件

第一二四二号 極秘

貴電第一三四〇号ニ関シ陸軍大臣ニ質シタル処四洮鉄道前
渡金五百万円ノ件ハ先頃曹汝霖ヨリ坂西ヲ経テ帝国政府ノ
好意的考量斡旋方自分ニ対シ懇請ノ次第アリタルガ或ル会
議ノ序ニ壇原次官ニ何トカ本件ノ便宜処分方法ナキヤヲ尋
ネタルニ同官ハ政府トシテハ滿鉄ノ前渡金交付ヲ承認スル
ノ途ナカルヘキニ付当事者トシテ強テ弥縫策ヲ求ムレハ本
件前渡金交付ノ内約ハ之ヲ取消シ其代リ滿鉄内密ノ斡旋ニ
依リ従来対支借款ニ關係ナク又政府ニ縁故ナキ本邦銀行ヲ
シテ別ニ右ニ相当スル金額ヲ融通セシムルコトトシ其ノ取
引ハ全然政府ノ関知セザル所トスルヨリ外ナカルヘキ旨ヲ
述ヘタルヨリ自分 (陸軍大臣) ハ右ノ如キ方法ニ依リ本件
善後処分ヲ着ケ得ル見込アルモノト思ヒ不取敢坂西ヲシテ

(欄外註記)

「大正八年十月二十一日首相及陸相ト協議済 (内田康哉
印)」

註 本件ニ関シテハ日本外交文書大正七年第二冊上卷一八一文
書参照

五一〇 十月二十四日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

曩ニ我軍部ノ外交機關無視ノ不都合ニ付稟申
セルハ中央ニ於テ外交問題ニ付陸軍大臣ガ越
權ヲ慎ム様措置アリタシトノ趣意ナリシ旨再
稟申ノ件

第一三八九号 (極秘)

貴電第一二四二号敬承

本使ハ坂西ヨリ本使ヘ打合セナカリシ点ヲモ遺憾トシタル
ハ事実ナルモ往電第一三四〇号本使申出ノ主タル点ハ坂西
ノ如キ出先機關ノ行動ヲ云々セントスルニ非ズ中央ニ於テ
陸軍大臣ガ閣下ト連絡ナク勝手ニ斯ル訓令ヲ發シ帝国外交
ノ統一ヲ紊ルガ如キ行動ヲ不都合トシ閣下ヨリ痛切ニ同大
臣ニ反省ヲ求メラレンコトヲ希望シタルニ外ナラズ青木、
尚本電ハ陸軍大臣ニ於テモ承知済ミナリ

坂西、東各武官ヲ利導活用スルコトハ本使ニ於テモ勉メテ之ヲ怠ラザルモ中央ノ連絡如斯不充分ニテハ本使ハ頗ル其ノ措置立場ニ苦シム場合尠カラザルニ付右御含ノ上先ヅ以テ右連絡ニ関シ閣下ノ切実ナル御配慮ヲ冀ヒ置キ度シ

元來帝國政府部内ニ於ケル軍閥跋扈ノ情勢ハ歐洲戰爭終結後ノ今日ニ至リ特ニ世界各國ノ甚深ナル注意ヲ促シ事毎ニ其ノ行動ヲ指彈非議セントスルハ勿論支那一般ノ民論公然之ヲ云々スル今日帝國政府ガ依然旧來ノ慣行ヲ踏襲シ我軍憲ヲシテ恣ニ法律官制上ニ規定アル其本來ノ職守ヲ踰越シ喙ヲ外交ノ範圍ニ容レシムルノ頗ル國家ノ為メニ憂慮スベキコトナルノミナラズ若シ此ノ慣行ヲ嚴重ニ取締ラザルニ於テハ何時迄モ帝國外交ノ公明正大ナル態度ヲ列國ハ勿論支那人ニモ了解セシムルノ機ナカルベシト信ズ右ノ言ハ聊カ奇激ニ亘ルノ嫌ナキニ非ザルモ帝國外交ノ將來ニ想到シ此ノ機會ニ一言(脱)

五一一 十一月八日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

四洮鐵道借款前貸金問題詮議ノ結果之ヲ承認

四洮鐵道借款契約成立ノ次第ハ山東問題解決後迄極秘ニ付スルコトトナリ居レル趣ナルモ之ニ先チ問題ヲ生シタルトキハ前記ノ通りノ方針ニ依リ承認スル以上ハ右契約成立ノ次第ヲモ「アドミット」セザルヲ得ザルコト有之ヘキニ付此ノ点ハ滿鉄ニモ申聞ケ置ク筈ナリ將又川上理事提出ノ願末書ニ依レハ九月十六日同理事ヨリ本件交渉ノ經過及前渡金五百万円ニ関スル支那側懇請を容ルルノ万止ムヲ得サル事情ヲ貴官ノ内聞ニ達シタル上翌十七日急遽調印ヲ了リタル趣ナル処同理事ヨリ前貸ノ件申出デタルコトアリヤ又有之トセハ貴官ヨリ何等阻止セラルルカ如キコトナカリシヤ其ノ辺ノ事情承知致度ニ付何分ノ義回電アリタシ

(欄外註記)

「大正八年十一月七日閣議決定(内田外相印)」

五二二 十一月十日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

四洮鐵道借款契約調印前前貸金ニ関シ川上理
事ヨリ内談ノ願末回報ノ件

第一四二七号 (十一月十日接受)

スルニ決定セル旨回報及川上ノ願末書記載事
項ニ付問合ノ件

第一三〇二号

貴電第一三八六号ニ関シ

往電第一二一五号末段ノ通り滿鉄ヨリ本件前貸問題ニ関スル願末書(川上理事自身ノ願末書ヲモ添附ス)ヲ提出シ來リタルヲ以テ査閲ヲ遂ケタル処滿鉄ノ所為ハ政府トシテ是認シ難キ所ナルモ去リトテ強テ前貸内約取消ヲ命スルハ滿鉄及支那側ヲ甚シク窮地ニ陥ルルモノナルヲ以テ滿鉄ニ對シテハ嚴ニ將來ヲ戒ムルト共ニ特別ノ考量ヲ以テ本件善後措置ニ付詮議ヲ尽シタル結果本件前貸問題ハ表面上政府ニ於テ関知セサルモノノ如ク裝フコトハ頗ル困難ニテ無理ナル弥縫策ヲ講スルハ却テ不得策ト認メラルルノミナラス目下英米側借款頻出ノ際ニモアリ旁々本件前貸五百万円問題ハ内三百万円ヲ以テ直チニ正金銀行ノ四鄭鐵道短期償還ニ充當シ又殘額二百万円ヲ以テ四洮鐵道敷設ノ為メ測量其ノ他ノ準備費ニ充當スルモノト了解ノ下ニ之ヲ承認スルコトトシ他日問題ヲ生シタルトキハ右ノ趣旨ニヨリ我立場ヲ明白ニ弁明スルコトニ決定セリ尚過般滿鉄ノ申出ニ依レハ

貴電第一三〇二号末段五百万円前渡ノ件ニ関シテハ當時川上理事ノ本使ニ報スル所ニ依レハ右ノ内三百万円前渡ノ儀ハ交通部ノ正金ニ對スル四鄭鐵道建設費不足借入金ノ弁済ニ充ツル条件ニテ再三外務省ニ陳情ノ結果其ノ承認ヲ得タリトノコトニ付別ニ川上ト本省トノ間ニ了解済ノ儀ト認メ川上ノナスガ儘ニ任セ置キタル次第ナリ殘二百万円ノ件ハ契約調印間際ニ至リ支那側ヨリ達テノ申出アリ川上ヨリ之ニ応スルニアラサレハ調印六ヶ敷趣申出アリタルニ付右ハ外務省ニ於テ異存アルヘシト思料スルニ付其ノ承認ヲ得実行シ然ルヘキ旨示達シタル処川上ハ右二百万円ハ川上ニ於テ支那側ニ對シ前渡方尽力ヲ約セルニ止マルカ故ニ爾後ノコトハ同人ノ責任ヲ以テ外務省ノ承認ヲ取附クル考ナリトノ挨拶ナリシニ付其ノ意ニ任セ置キタル次第ニ外ナラズ

五二三 十一月十一日 内田外務大臣ヨリ
在中國小幡公使宛(電報)

日本政府ガ四洮鐵道借款前貸金ヲ承認セル旨
非公式ニ曹汝霖ヲ通シ中国側ニ申入方訓令ノ
件

第三一二号

往電第一三〇二号ニ関シ政府ニ於テ本件前貸金承認ノコトニ決定シタル次第ハ滿鉄ニモ申渡シ置キタル処滿鉄トシテハ右ノ次第ヲ支那側ニ通報スベキ立場ニ在ルニ付或ハ既に内報ヲ了シタルコトカトモ想像セラルルモ本件ニ付テハ曩ニ大總統ノ命ニ基キ曹汝霖ヨリ貴官ニ懇願シ来リ又政府当局ヨリモ申出ノ次第アリタルニ付是等ニ対シテハ貴官ヨリ何分ノ回答ヲ与ヘラルル方可然ト思考セラルル処政府当局ニ対スル回答ハ聊カ表立チテ面白カラサルヤニ認メラレ旁々貴官ヨリ本件ニ関シ支那側ニ対スル内報ノ儀尚未済ナルニ於テハ館員ヲシテ口頭ニテ且極メテ非公式ニ曹ニ対シ大總統交通総長財政総長ノ三人ノミノ内密ノ含迄トシテ本件承認ニ決定ノ次第轉達方依頼セシメラレ以テ政府当局ヘノ内報ヲモ了シタルコトトスルト同時ニ他ノ問題ニ付同人ヲ利用スル為メ幾分曹ニ花ヲ持タセ置クコトトスル方得策ト認メラルルニ付右様御含ノ上可然取計ハレタシ

五一四 十一月十二日 芳沢政務局長ヨリ
野村滿鉄社長宛

日本政府ハ四洮鉄道借款前貸金ヲ条件付承認

五一五 十一月十三日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日本政府力四洮鉄道借款前貸金ヲ承認ノ旨中

国側へ曹汝霖ヲ通ジ申入レタル旨報告ノ件

第一四四七号

貴電第一三一二号ノ件十一月十三日曹汝霖ニ相伝ヘ御指定ノ筋ヘ内密伝達方依頼シタル処深ク帝國政府ノ好意ヲ謝スル旨ヲ述ベ早速直接当局者ニ伝達シ尚今回ハ直ニ外間ニ漏ルルガ如キコトナキ様充分注意スル様併セテ当局ニ警戒シ置カルベシト申入ルベシト云ヘリ尚滿鉄側ヨリ内聞シタルモノニヤ曹ハ事実ヲ承知シ居レリ

五一六 十一月二十二日 野村滿鉄社長ヨリ
芳沢政務局長宛

四洮鉄道借款前貸金承認ニ関シ滿鉄ヨリ謝意

表明ノ件

滿鉄外第二四号ノ七 (十一月二十八日接受)

大正八年十一月二十二日

南滿洲鉄道株式会社

社長工学博士 野村竜太郎(印)

六 四洮鉄道関係一件 五一五 五一六 五一七

スルニ決定ノ旨示達ノ件

拝啓陳者四洮鉄道借款五百万円前貸願末ニ付客月十六日付東庶第三九九号貴信ヲ以テ当省大臣宛御申報ノ次第有之政府ニ於テ篤ト審議ノ結果前記前貸ニ関スル貴社ノ御措置ハ政府トシテ是認難相成処ニ有之候得共特別ノ考量ヲ以テ本件前貸五百万円ノ件ハ内三百万円ヲ以テ直ニ正金銀行ノ四鄭鉄道短期借款ノ償還ニ充当シ残額二百万円ヲ以テ四洮鉄道敷設ノ為測量其ノ他ノ準備費ニ充当スルモノトノ了解ノ下ニ之ヲ承認シ他日問題ヲ生シタルトキハ右ノ趣旨ニ依リ我立場ヲ闡明スルコトニ決定相成候ニ付右様御承知相成度候尚四洮鉄道借款契約成立ノ件ハ山東問題解決後迄極秘ニ付スルコトト相成居候趣先般貴社ヨリ御申出有之候ヘ共右ノ通り前貸ノ件ヲ承認致候以上他日問題生シ候節ハ契約成立ノ次第ヲモ肯定セサルヲ得サル場合モ有之ヘキニ付此ノ点予メ御含置相成度尚ホ今後ハ政府既定ノ借款方針ヲ厳守セラレ候様致度右依命申進候 敬具

追テ可成速ニ支那政府トモ交渉ヲ遂ケラレ測量ノ実行其他建設事業ニ著手相成候方可然ト存候此段為念申添候也

政務局長 芳沢謙吉殿

四洮鉄道借款前渡金ノ件ニ関スル本月十二日附貴東正ニ拝受仕候御懇切ナル御配意ニ依リ特ニ政府ノ御承認ヲ相蒙リ候段深ク奉感謝候就テハ御指示ノ趣旨ハ逐一拝承自今厳守勵行可仕候而シテ今回ノ前途金ニ就テモ御高示ノ通内三百万円ハ正金銀行ノ四鄭鉄道短期借款ノ償還ニ充当シ残額二百万円ヲ以テ四洮鉄道敷設ノ為測量其ノ他ノ準備費ニ充当スヘキコトハ支那政府当局者トノ間ニ充分ナル了解ヲ以テ交付致置候条御了承置被下度候先ハ不取敢尊束ニ対シ御請ケ旁御厚礼申上度如此御座候 敬具

五一七 十二月二十二日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

四鄭鉄道短期借款償還延期ニ関シ報告ノ件

附屬書一

十一月十九日附中国交通部ヨリ武内横浜正金取締役宛書翰 四鄭鉄道短期借款償還延期方要請ノ件

二 十一月二十六日附武内横浜正金取締役ヨリ李財政、曾交通兩総長代理宛書翰 右ニ対シ回答ノ件

三 十二月十七日附財政交通兩部ヨリ横浜正金宛書翰 右延期ニ関シ協定ノ件

五三七

四 十一月二十六日附武内横浜正金取締役ヨリ曾
交通総長代理宛書翰 右借款附帶ノ四十万円
返済延期ニ付申入ノ件

五 十二月九日附曾交通総長代理ヨリ横浜正金銀
行宛 右ニ附中国側承諾ノ件

特命全權公使 小幡酉吉（印）

外務大臣子爵 内田康哉殿

四 鄭鐵道短期借款償還延期ニ関スル件

大正七年二月七日横浜正金銀行ヨリ支那政府ヘ貸与セル四
鄭鐵道短期借款金貳百六十万円ハ本年十一月十八日満期ノ
処今般当地正金銀行ハ支那政府ノ申出ニ依リ右借款元金ノ
内老百万円及ヒ利息拾参万六千五百円ヲ受入レ元金残額百
六十万円ヲ利息割合ヲ年八分ニ改メ期日ヨリ向フ一箇年間
延期シ（別紙甲号乙号及丙号各号参照）又右短期借款契約
ニ附帶シ大正七年二月七日附支那政府横浜正金銀行間往復
文書ニ拠ル銀四拾万円ノ借款ハ本年十一月十八日満期ノ処
是亦支那政府ノ希望ニヨリ利息ヲ繰入レ利息割合年一割零
五厘ニテ期日ヨリ向フ一ヶ年間延期スルコトニ（別紙丁号
及戊号各号参照）夫々協定シタル趣ニ有之候右兩件ニ付其
内外交部ヨリ本使ニ対シ正式ニ照会可有之筈ナル趣別紙相

曾毓雋閣下

横浜正金銀行

取締役 武内金平

拝啓陳者去十一月十九日交通部第二六四六号御書面ヲ以テ
四 鄭鐵道短期借款金二百六十万円十一月十八日満期到達セ
ルニ付本部先ツ金老百万円及ビ借款金額ニ対スル九個月間
利息金十三万六千五百円合計金一百十三万六千五百円ヲ支
払フヘク已ニ在東京交通銀行經理員陸世芬君ニ東京貴行ニ
交付スル様電囑シタルニ付入金ノ手續相成度又ハ残額ハ延
期致度御回答ヲ請フト御申越相成敬承致候
御申越ノ金一百十三万六千五百円ハ去ル二十二日東京交通
銀行代表者ヨリ弊行東京支店ニ御払込相成正ニ領収致候
残額金一百六十万円ハ利息年八分即一箇年毎百円ニ付八円
ノ割合ヲ以テ十一月十八日ヨリ向フ一ヶ年間延期差支無之
候ニ付御決定ノ上御回答被成下度候 敬具

（附屬書三）

（丙号号）

財政部会函
交通部会函

添此段不取敢及報告候也

（附屬書一）

（甲号号）

八年函字第二六四六号

逕啓者十七日

来函具悉四 鄭鐵路短期借款日金二百六十萬元於十一月十八
日到期本部先撥還日金一百萬元及借款全数九個月利息十三
万六千五百元共計日金一百十三万六千五百元已電囑駐東京
交通銀行經理員陸世芬君撥交東京貴行相応函復即請查照轉
知照数余款擬請

貴行通融展期並希見復為荷此致

正金銀行武内金平君

交通部啓十一月十九日

（附屬書二）

（乙号号）

大正八年十一月二十六日

財政総長代理

李思浩閣下

交通総長代理

逕啓者中華民國七年二月七日中国政府与貴行所訂四 鄭鐵路

短期借款契約共借日金二百六十萬元於民國八年二月十八日

期滿經本部会同財政部函請

貴行依該契約同様之条件展期九箇月承貴行函復承諾在案此

項借款已於十一月十八日到期業經交通部歸還日金一百萬元

其余額日金一百六十萬元復經交通部商請

貴行展期准

貴行函復允自本年十一月十八日起延期一年利息改為年息八

釐两部允為照辦茲特会同函復

貴行即請

查照此致

正金銀行

李思浩

曾毓雋

財政
交通
總長

同啓

中華民國八年十二月十七日

（附屬書四）

（丁号号）

大正八年十一月二十六日

交通総長代理

曾毓雋閣下

橫濱正金銀行

取締役 武内金平

拝啓陳者四鄭鐵道短期借款契約ニ附帶シ大正七年二月七日付貴政府ト弊行ト往復シタル文書ニヨル銀四十万円ノ借款ハ本年二月十八日交通總長第五零二号書面ニ抛リ利息ヲ繰入レ九個月延期セラレ本月十八日到期到達致候ニ付テハ更ニ利息ヲ繰入レ利息年一割零五厘即一個年毎百円ニ付十円五十錢ノ割合ヲ以テ一個年延期相成度旨參事陸夢熊氏ヨリ御話有之候処右御差支無之候ニ付御決定ノ上御回答被成下度候 敬具

(附屬書五)

(戌号写)

逕啓者十一月二十六日

來函具悉依抛四鄭鐵路短期借款契約所附帶之銀元四十萬元借款既承

貴行允於本年十一月十八日起再延期一年請將年息改為一分零五毫即每一個年對於每百元應付十元零五角之利息本部亦勉為照辦相應函復即請

貴行查照此致

正金銀行

曾毓雋啓八年十二月九日

事項七 中国米輸入交渉ニ関スル件

五一八 一月二日

在南京清野領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

李純江蘇省武器購入ト引換ニ江蘇米日本ニ輸

出方省長ト協議中ナル旨内話ノ件

第一号

一月一日英米領事ト共二年賀ノタメ李純ヲ往訪シタル際同人ハ窃ニ小官ニ対シ当省軍器購入ノ件ニ関シテハ過日ノ依頼ノ通り大臣閣下ニ電報セラレシヤト尋ネタル故即日電報セル旨ヲ答ヘタル処李純ハ貴官ガ斯ノ如ク江蘇省民ノタメニ尽力セラルルヲ以テ予ハ江蘇省ガ貴国ニ対シ好意ヲ表スルタメ江蘇米ヲ貴国ニ輸出スル件ニ関シ省長ト協議中ナリト内話セリ

北京へ電報シ上海へ暗号ノ儘郵報セリ

五一九 一月三日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

江蘇米日本へ輸出問題ノ措置方ニ関シ清野事務代理ノ請訓ニ対スル回訓ニ付報告ノ件

七 中国米輸入交渉ニ関スル件 五一八 五一九

第七号

左記一ノ通り南京ヨリ來電アリタルニ付二ノ通り返電セリ一、南京發本官宛電報。

江蘇米輸出ニ関シ閣下ノ紹介ヲ以テ当地ニ來リタル角田太十郎氏ニ対シテハ其成効ヲ望ミ当地官辺ノ消息ニ通セル一邦人ヲモ紹介スル等爾來助力致シ居リタル折柄卅一日三井上海支店員首藤氏本件ニ関シ過日以來施愚(北方代表者ノ一人)ヲ通ジテ李純ヲ動かシ省長ニ説キタル結果日本領事ヨリ正式ニ李純ニ希望スルニ於テハ直チニ一百万石ノ輸出ヲ許可スルコトニ取運ヒ居ルニ付李純ニ対シ右ノ旨申入レ願ハレ間敷キヤト願出デ尚李純ガ斯ノ如ク俄ニ承諾スルニ至リタルハ今回會議ノ費用ハ之ヲ以テ弁ズル考ヨリ出タルニ由ルモノナル可シト述べ如何ニモ確信ヲ有スルモノノ如ク觀取セラレ且ツ三井ハ本年六月以來本件ノ努力ヲナシ來リタルモノナルヲ知り居ルモ小官ハ已ニ閣下ノ紹介セラレタル或邦人ニ援助ヲ与ヘ居ル行懸リ上且ツ大臣ノ御意見ヲ伺ハザル内ハ希望ニ応ズル能ハザル旨ヲ答ヘ一応拒絕シ置